

CSR報告書2022

Corporate Social Responsibility Report





経営理念

「和」の経営理念を実践し、経営基本方針に基づいて「企業の社会的責任（CSR）」を果たしていきます。

トナミホールディングスグループは、

お客様に「安全・確実・迅速なサービス」を提供することを通して

事業の発展をはかり、株主の皆様へ「適正で安定した配当」を継続することを

経営の基本方針としています。

この方針に基づいて、収益性を確保し、常に企業価値の向上に努め、

その成果を株主の皆様、お客様、取引先、社員、社会と適正に分ち合うことが、

トナミホールディングスグループの使命であると考えています。



編集方針 ●この報告書は、2021年度を中心としてトナミホールディングスグループが行ったCSR活動を紹介しています。
●構成にあたっては「GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード」を参考にしています。

対象期間 2021年4月1日～2022年3月31日（一部対象期間外の活動も含みます。）

対象範囲 トナミホールディングスグループすべての事業会社の活動実績を対象としています。

会社概要 （2022年8月31日現在）

商 号 トナミホールディングス株式会社

設 立 1943年6月1日

資 本 金 14,182百万円

本 社 〒933-8788 富山県高岡市昭和町3丁目2番12号

純粋持株会社

●トナミホールディングス株式会社 富山県高岡市昭和町3-2-12

物流事業グループ会社

●トナミ運輸株式会社	富山県高岡市昭和町3-2-12
●トナミ運輸信越株式会社	新潟県新潟市西区北場1087-1
●トナミ運輸中国株式会社	広島県広島市西区草津港3-2-1
●京神倉庫株式会社	京都府京都市下京区和気町21-1
●トナミ国際物流株式会社	神奈川県横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル7階
●株式会社サンライズトランスポート	岩手県一関市東山町長坂字町176
●株式会社テイクワン	埼玉県川口市新堀988
●株式会社ケーワイケー	千葉県柏市藤ヶ谷676-1
●関東トナミ運輸株式会社	東京都中央区日本橋横山町4-5 福田ビル5階
●トナミ首都圏物流株式会社	神奈川県海老名市本郷1675
●新潟トナミ運輸株式会社	新潟県新潟市西区北場1087-1
●北陸トナミ運輸株式会社	富山県高岡市上四屋4-42
●高岡通運株式会社	富山県高岡市能町1935
●石川トナミ運輸株式会社	石川県白山市平松町158-1
●福井トナミ運輸株式会社	福井県敦賀市羽織町13-3
●阿南自動車株式会社	長野県諏訪市中洲5502-18
●トナミ第一倉庫物流株式会社	愛知県名古屋市中区砂美町128
●株式会社御幸倉庫	愛知県春日井市御幸町2-5-2
●トナミ近畿物流株式会社	大阪府松原市天美北4-1-8
●中央冷蔵株式会社	広島県広島市西区草津港1-7-7
●新生倉庫運輸株式会社	広島県広島市南区西蟹屋3-3-26

関連事業グループ会社

●トナミビジネスサービス株式会社	東京都中央区日本橋堀留町2-8-4 日本橋コアビル7階
●東洋ゴム北陸販売株式会社	富山県富山市呉羽町7271-1
●トナミ商事株式会社	富山県高岡市昭和町1-2-10
●トナミシステムソリューションズ株式会社	京都府京都市下京区中堂寺壬生川町20-2

海外現地法人

●托納美物流（大連）有限公司	中国遼寧省大連市保稅区南港路18-2号B棟701
●TONAMI (THAILAND) Co., Ltd.	7th floor J.B. Building, No.32 Viphavadi Rangsit Road, Jompol, Chatuchak, Bangkok 10900, Thailand
●MAHAPORN TRANSPORT Co., Ltd.	205/10 Moo 3 Laemchabang Industrial Estate, Thungskula, Sriracha, Chonburi 20230, Thailand
●H&R Forwarding Co., Ltd.	7th floor J.B. Building, No.32 Viphavadi Rangsit Road, Jompol, Chatuchak, Bangkok 10900, Thailand

関連会社及び関係先

●北海道トナミ運輸株式会社	北海道札幌市白石区川北2246-1
●ジャパン・トランス・ライン株式会社	東京都江東区東雲1-7-30（第一貨物（株）東京支店内）
●株式会社ジェスコ	富山県富山市婦中町広田3978
●高岡ケーブルネットワーク株式会社	富山県高岡市昭和町1-2-10
●アルハイテック株式会社	富山県高岡市オフィスパーク1
●東砺運輸株式会社	愛知県名古屋市中区浮野町75

C O N T E N T S

- 1 経営理念・会社概要・グループ会社紹介
- 3 トップメッセージ
- 5 財務ハイライト
- 6 非財務ハイライト

事業概要

- 7 物流関連事業
- 10 情報処理事業／販売事業／その他

11 トナミホールディングスのCSR重要課題

安全な社会づくり

- 13 輸送の安全確保
- 16 物流品質向上

環境保全への取り組み

- 19 カーボンニュートラルへの取り組み
- 23 環境マネジメント
- 25 リサイクルの推進

社会とのつながり

- 26 地域社会とのコミュニケーション
- 32 働きやすい職場づくり
- 33 ダイバーシティ&インクルージョン

ガバナンス

- 35 コーポレートガバナンス

トナミホールディングスグループは、物流インフラとしての 社会的責任を担う企業としてSDGsの実現をめざしてまいります。

事業戦略とCSR経営

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。
当社グループは、社会・経済が一日も早く活力と安定を取り戻せるように、社会基盤を守る物流インフラとしての社会的責任を果たしてまいります。

ワクチン接種の進展や医療提供体制の拡充のもと、段階的に経済活動が再開し、人流の増加による景況感改善の兆しがみられていますが、ウクライナ情勢の長期化や原油・原材料価格の高騰に加え、物価高・円安などの影響による景気の下振れが懸念されており、本格的な景気回復の見通しは依然として不透明な状況にあります。

物流業界では、国内貨物輸送量は徐々に持ち直しておりますが、燃料価格の高騰により運送原価が増大し、トラック運送事業者に深刻なダメージを与えています。一方で、ドライバーの労働力不足と高齢化問題により、労働時間の短縮をはじめとした労働環境の改善や働き方改革の推進などの取り組みが進みつつあるものの、人口減少や少子化などの構造的な課題は解消しておらず、加えて、環境問題や安全問題に対応するための社会的なコスト負担が強まり、経営環境はより一層厳しい状況が続いております。

このような情勢のもと、当社グループは、「第22次中期経営計画(2021年4月1日～2024年3月31日):コーポレート・スローガン『TONAMI NEW PLAN 2023』」の取り組みを進めています。

推進に際しましては、
①輸送サービスと物流サービスの連携強化・新規流通センター開発、M&Aや事業再編による事業の成長
②TDX(TONAMI デジタルトランスフォーメーション)による業務効率の向上と物流・輸送の高度化
③多様な人材を採用確保、事業形態や地域特性に応じた人事制度の構築
④自己資本比率の向上と安定した資本政策
⑤経営品質と成長性(CSR・BCP・ESG)評価や社会的認知度の向上
の5つの重点戦略を経営の中心に据え、「成長戦略とCSR経営」の一体的な取り組みを推進し、中長期的な成長の継続と、ESG評価の向上に努めております。



SDGsの実現と脱炭素の取り組み

当社グループは、新しい社会構造の中、高度化する物流ニーズに応えるため、物流DXへの投資や人材育成に注力していくとともに、「SDGs」の実現に向け、福祉支援活動やバドミントン部によるスポーツ支援活動などの地域社会への貢献及び地球温暖化防止のための気候変動問題に対応する「サステナビリティ」の取り組みを強化しています。また、金融安定理事会(FSB)により設置されたTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)」の提言への賛同を2022年6月に表明し、気候変動に係るリスク及び収益機会が自社の事業活動や収益などに与える影響についてのデータ収集とシナリオ分析を進めています。

今後とも脱炭素社会の実現に向け、物流施設への太陽光発電施設展開によるグリーンエネルギーの提供に加え、EVトラックの導入や軽油代替燃料であるリニューアブルディーゼルの実証利用、さらには中型重量車の水素エンジン化事業性検証プロジェクトに参画し、カーボンニュートラルに向けた取り組みを推進していきます。

コーポレートガバナンスの強化

当社グループは、「安心・安全・安定」した物流サービスの提供を基本として、働きやすい職場環境の整備やDXによる業務の効率化及び物流ニーズの提案力強化に取り組み、ライフラインの一翼を担う物流サービス機能の向上を図り、社会のご期待に応えてまいります。トナミグループ社員行動規範に則り、「事業活動のあらゆる局面におけるコンプライアンスの徹底」を行動原則として、物流事業の一層の価値創造とCSRを果たす経営に邁進していきます。

「輸送の安全を確保すること」「地球環境に配慮すること」「法令やルールを守ること」「人権を尊重すること」「地域社会に貢献すること」は、SDGsに取り組む物流企業として欠くことのできない要素であり、ESG経営やコーポレートガバナンスのさらなる強化とあわせ、社会・ステークホルダーの皆様から信頼される企業として、より一層の社会的価値を創造してまいります。

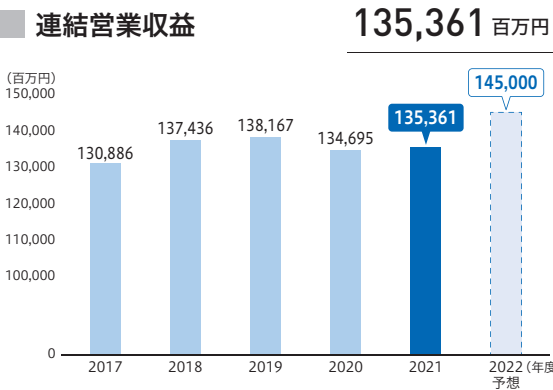
このような当社グループのCSR活動に多少なりともご理解を頂き、今後とも皆様からのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

トナミホールディングス株式会社
代表取締役社長

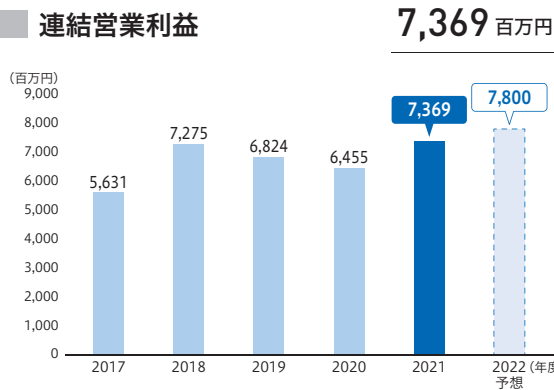
綿貫 勝介



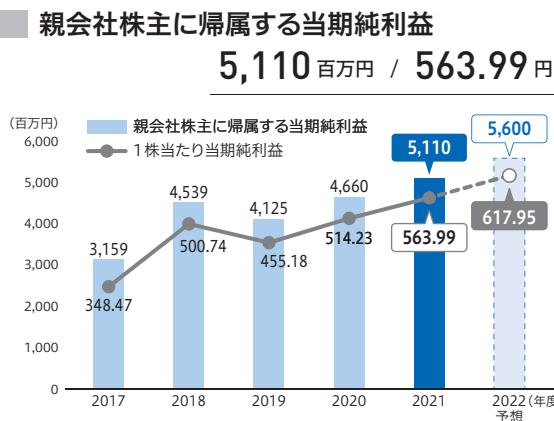
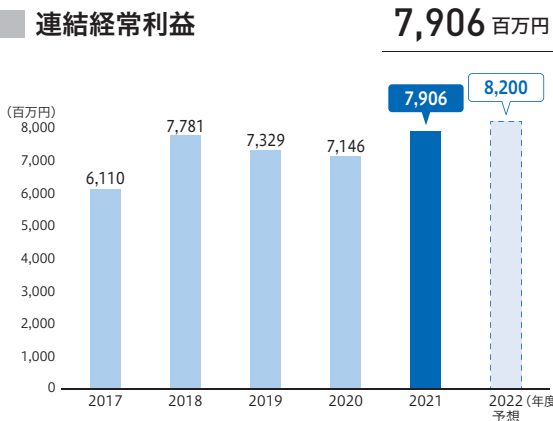
財務ハイライト



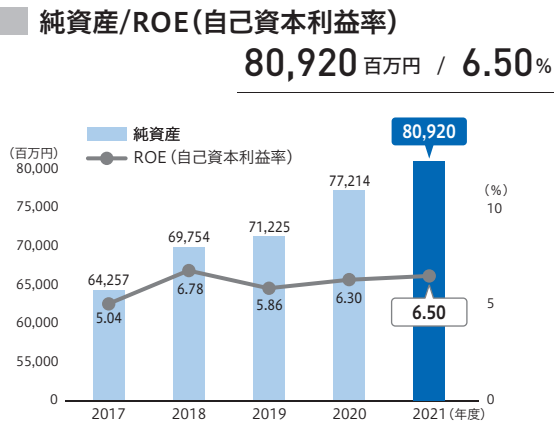
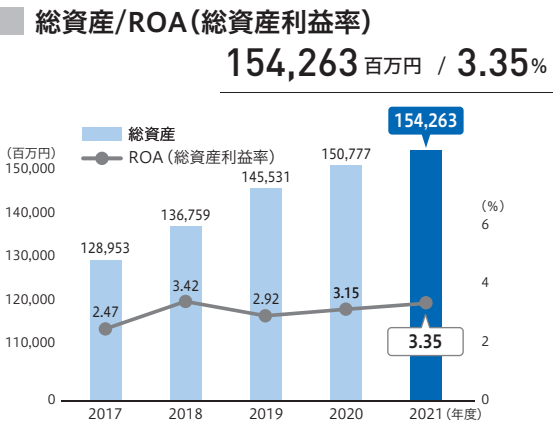
コロナショックからの回復により小口物量が伸長、3PL事業の安定拡大やM&Aの寄与もあり、増収となったが、収益認識基準適用による影響もあり、微増。



燃焼価格高騰による燃料コストの増加があったものの、営業収益の増収効果に加え、外注費の内製化をはじめとする徹底したコストコントロール機能の強化に努めた結果、増益。



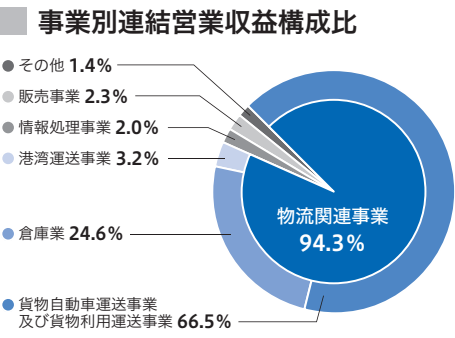
※2017年10月1日付で普通株式10株を1株の割合で併合したため、1株当たり情報は当該株式併合を加味した金額を記載しています。



■ 事業別連結営業収益

事業別	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比増減率 (%)
物流関連事業	(127,691)	(94.3)	(3.2)
貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業	90,021	66.5	1.0
倉庫業	33,275	24.6	10.8
港湾運送事業	4,393	3.2	△5.2
情報処理事業	(2,733)	(2.0)	(△13.6)
販売事業	(3,025)	(2.3)	(△50.0)
その他	(1,911)	(1.4)	(10.2)
合計	135,361	100.0	0.5

(注) その他欄には、自動車修理業、その他事業の各収入を含めて表示しています。

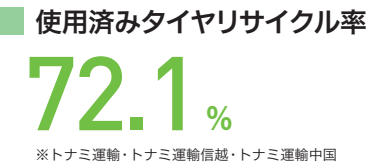


非財務ハイライト

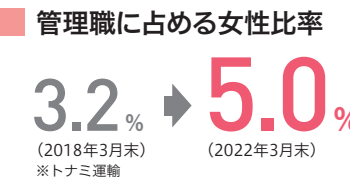
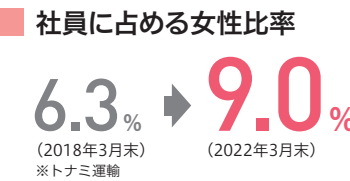
安全



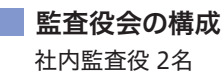
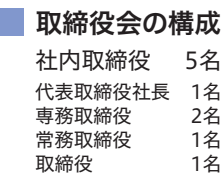
環境



社会



ガバナンス



物流関連事業

特別積合せ貨物運送事業

日本国内外に広がる物流ネットワークを駆使して、価値ある速さを実現します

本州に点在する流通センターと日本国内外に広がる物流ネットワークを駆使し、物流拠点の点と線を効率的に結びます。高速道路網を使った大量輸送から多頻度小口配送までお客様のニーズに迅速に対応します。

トナミ特急便
ユーザビリティに徹したサービスでスピーディーに正確に、大切なお荷物を運びます。

トナミチャーター便
国内拠点を連携する物流情報ネットワークで効率的な貸切便を提供します。

ローリー輸送
日本の基幹産業である、自動車・電機・化学工業の原料・製品の輸送を行います。

エコロックシステム便
1個口からでもセキュリティ（GPS機能搭載）を付加した輸送モードにより、回収と機密消滅を行います。

3PL(サードパーティロジスティクス)事業

お客様の物流機能の効率化や高度化を目的とした包括的なアウトソーシングサービスです

輸送・保管など基本的な機能のほか、情報システムを活用した受発注・在庫管理・仕分け・梱包など関連する業務を提供しています。

アセット型はもとより、自社保有の資産にとらわれないノンアセット提案も行っています。社会全体が環境に対する関心が高まる中、省エネ設備・技術を導入した物流施設を増やし、環境負荷を低減する取り組みを進めています。

お客様に最適な物流環境を提案するトナミのトータルマネジメント

コンサルティング機能
物流の現場を調査、分析し、最適な物流環境を提案します。

情報システム機能
お客様のニーズに合わせて、最適なシステムを提供します。

各種倉庫
全国に定温・定湿倉庫、燻蒸倉庫を保有しています。

トランクルーム
住居の新築・改装、転勤時などの家財を大事に保管します。

パンサー宅配便
おくる人とおくれる人の思いをFace to Faceで運びます。

JITBOX チャーター便
BOX単位のチャーター便で集荷・納品・流通在庫削減を強力にサポートします。

コンビニ配送
大手コンビニエンスチェーンの配送を請け負います。



グループネットワーク

トナミホールディングスグループは、直営エリア及び業務提携エリアを含むネットワーク構築により、3PLのパイオニアとして、最適な物流システムを提供します。

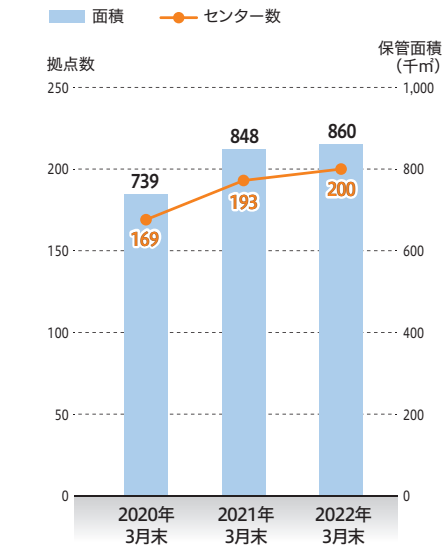
- モーダルシフトによるワンウェイのコンテナ輸送を実施
- トナミ運輸(株)、第一貨物(株)、久留米運送(株)、ジャパン・トランス・ライン(株)の4社で、31ft鉄道コンテナによる、鉄道輸送へのモーダルシフトを実施



流通センター拠点数・保管面積推移

グループ全体の拠点数は、200拠点、総保管面積は860千㎡。関東・東海・関西エリアの物流機能の充実強化に取り組んでいます。

全拠点数・総保管面積



物流拠点の新設

輸送サービスと連携を強化した物流サービスの開発による事業展開を目的として、新たに2つの物流拠点を開設しました。

トナミ運輸 春日部流通センター



名 称	春日部流通センター
所 在 地	埼玉県春日部市下柳1818-1
敷地面積	12,032㎡ (3,639坪)
延床面積	20,513㎡ (6,205坪)
建物構造	鉄骨造3階
供 用	2021年10月

京神倉庫 箕面支店



名 称	箕面支店
所 在 地	大阪府箕面市森町西二丁目2番22号
敷地面積	7,522.5㎡ (2,275.5坪)
延床面積	12,673.86㎡ (3,833.8坪)
建物構造	鉄骨造4階(倉庫3階) 耐火構造
竣 工	2021年8月末
事業開始	2021年10月

物流関連事業

マルチトランスポート事業

国際物流事業

陸・海・空に広がる国内・国際輸送ネットワークで確実に配送します

国際航空輸送

国内と同様に安全・確実・迅速な配達を実現しています。

国際海上輸送

一般コンテナ輸送を中心に通関から船積までの一貫した海上輸送サービスを提供します。

AEO認定通関業者認定取得

コンプライアンスを重視したレベルの高い通関業務体制により通関業務を行います。

業務内容

- 輸出入通関業務
- 書類作成・申請取得業務
- 検査代行及び手続き業務
- 貨物会場保険代行業務
- 車両輸出入(在庫管理から輸出の手続き、船積作業まで)
- 貨物の特性に合わせた梱包
- 特殊貨物(規格外の大口貨物やプラント)の取扱
- 海外展示会

国内航空事業

航空機とトラックのスピーディー輸送で、“今日中に届けたい”を実現します

トナミ航空便

航空機とトラック輸送のコンビネーションで物流シーンのシナジー効果を発揮します。

引越事業

人の笑顔、家族の幸福を全国どこへでも運びます

引越優良事業者として「引越安心マーク」を取得しており、お客様の立場に立って品質第一を心がけています。

オフィスの引越

オフィスや店舗、工場をまるごと引越。業務に支障なく、移転業務が完了します。

ミニ引越

進学、就職、単身赴任のお引越はおまかせください。新生活のスタートを真心込めてバックアップします。

住まいの引越

荷造りから輸送まで、丁寧・確実に、家族の大切な荷物を思い出・幸福とともに運びます。

その他のサービス

会場の設営、精密機器の運搬、重量物の運搬、商品の陳列、仕分作業なども行います。

産業廃棄物の収集運搬

環境関連法を遵守し、環境省広域認定制度のコンサルティングから運用に関して最適な物流を提案します。

通運事業

地球環境にやさしいコンテナ輸送でCO₂を削減します

鉄道の大量高速性とトラックの機動性をドッキングさせたJRコンテナ輸送のモーダルシフトを推進しています。

ビジネスサポート事業

24時間365日、お客様の「目」と「耳」になり、物流を監視・管理し高品質な配送を提供します

業務内容

- 全国に配置した専用拠点とコンピュータシステムにより、24時間365日対応の配送が可能です。
- 専用システムによりお客様がリアルタイムに必要な物流情報を取得、確認できます。
- 配送工程・入出庫工程などすべての工程に対するレポート機能が充実しています。
- リアルタイムでのデータ更新、ならびに照会が可能です。

情報処理事業

物流業務の効率化とサービス向上をめざします

- システム開発
- サーバーの集中管理システム
- 貨物照会システム
- 配車支援システム
- 多種多様なデータ通信システム
- 自社開発の運用管理システム
- ハードウェア販売
- 保守サービス
- 情報分析サービス
- インターネットサービスの展開
- データセンターサービス
- ホスティングサービス
- ソフトウェア開発
- ソリューションサービス



販売事業

お客様のニーズに幅広いサービスと商品を提供します

- 北陸の名産品販売
- タイヤ販売
- 各種燃料の販売及び宅配
- 各種保険
- ギフトカード・お土産品販売
- トナミ運輸バドミントン部オフィシャルショップ
- 工業用品の販売
- 旅行プランの提供
- 不要パソコン・OA機器回収



その他

車両整備事業

信頼の絆を育む、トナミ独自の安心車検です

- 車両整備サービス
- タイヤ保管サービス

食品製造

食品の安心・安全・多様化・安定供給について取り組み、地域の皆様の食生活の向上に貢献しています

- 純氷製造
- 食品保管

環境関連

地球と人にやさしい、循環型社会をめざして様々な活動を推進しています

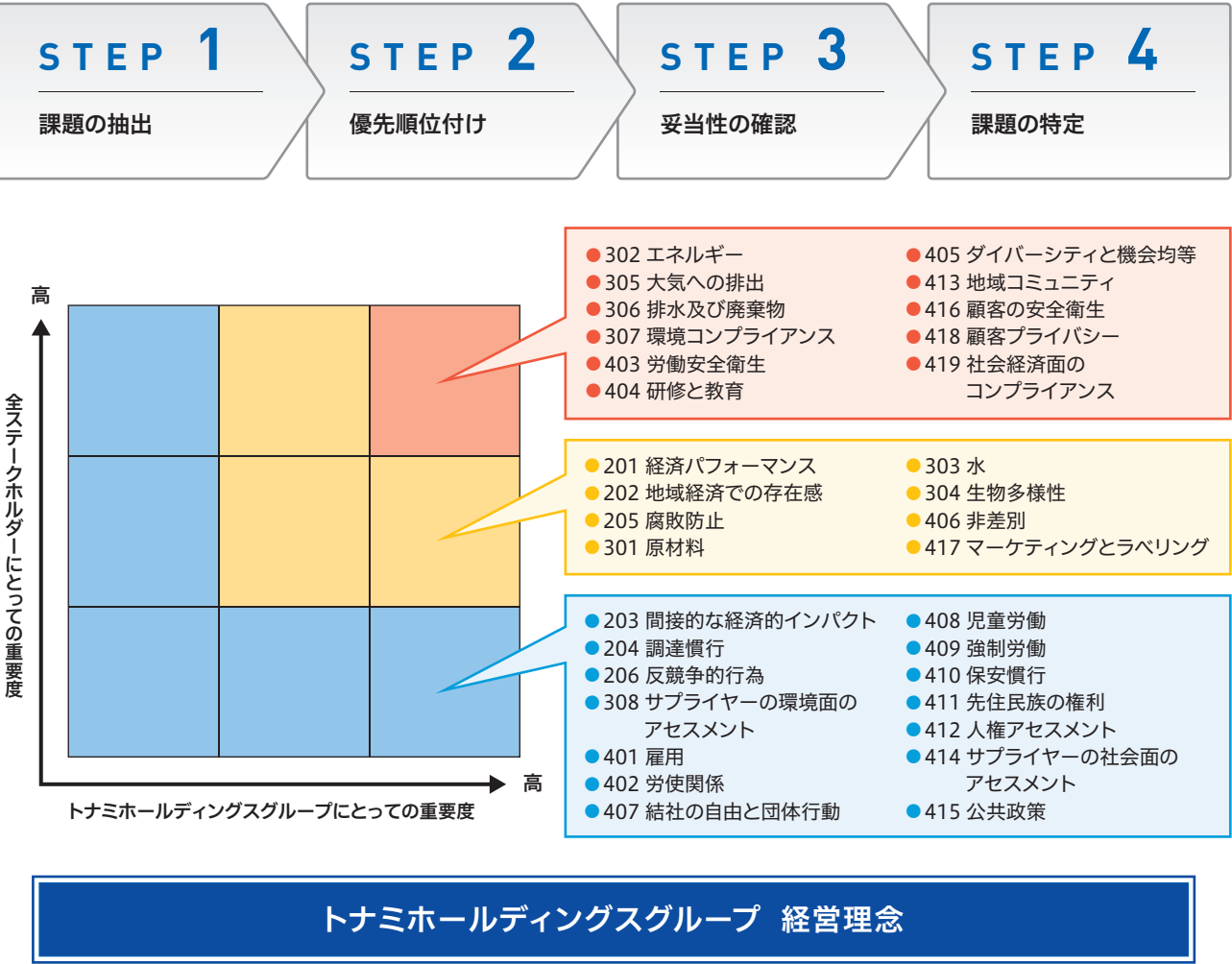
- 資源リサイクルシステム

太陽光発電事業

温室効果ガス削減の取り組みの一環として太陽光発電事業を開始しました



トナミホールディングスCSR重要課題特定のプロセス



特定した重要課題

上記で整理した重要課題候補をもとに、ステークホルダーとトナミホールディングスグループの双方にとって重要性の高い項目について、トナミホールディングスグループのCSR行動指針との関連性を考え、トナミホールディングスグループの重要課題としました。



トナミホールディングス2022年度CSRの取り組み

項目	重要課題	具体的取り組み	関連するSDGs
安全	輸送の安全確保	基本的な方針設定 安全管理体制の整備 新人ドライバーの安全教育 家族交通安全ポスター マナーアップキャンペーン実施 危険予知訓練の実施 ドライバーの育成 集配車デジタルタコグラフの更新 バックカメラの導入 フォークリフト後退時ブルーライト点灯 ドライブレコーダーの導入 安全性優良事業所(Gマーク)	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを
	物流品質向上	品質目標の設定 物流品質向上のための社員教育 トナミ品質づくりの歩み	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを
環境	カーボンニュートラルへの取り組み	CO ₂ 排出量削減に向けた取り組み EVトラックの導入 環境にやさしいトラックの導入 太陽光発電所稼働 エコドライブの実践 水素トラックの実用化に向けて 燃費向上運動の実施 屋上緑化設備 トナミの森CO ₂ 排出量削減・里山再生プロジェクト コンテナ輸送でCO ₂ を削減	6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう
	環境マネジメント	環境方針の制定 ISO14001の取得 環境負荷軽減への取り組み グリーン経営認証の取得	
	リサイクルの推進	使用済みコピー用紙・ラップ・段ボールのリサイクル 古紙再生トイレットペーパーの販売 使用済みタイヤのリサイクル	
社会	地域社会とのコミュニケーション	新型コロナウイルス感染症への対策 福祉支援活動 交通遺児支援基金 備蓄品の設置 AEDの設置 ラッピングトラックの走行 募金型自動販売機 フードパントリーの協働開催 ペットボトルキャップの収集 使用済み切手の寄贈 ヘルマークなどの収集 こども110番の家 献血の実施 地域清掃活動 お菓子の寄贈 インターンシップ 会社見学 富山マラソン協賛 チケット&ユニフォーム贈呈 プロ・アマスポーツチームへの協賛 スポーツ支援活動	1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を實現しよう 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを
	働きやすい職場づくり	健康経営の推進 メンター制度	
ガバナンス	ダイバーシティ&インクルージョン	女性ドライバーの活躍 女性所属長の活躍 ダイバーシティ推進部発足 支援学校「障がい者雇用見学会」への参加 外国人技術技能実習生の受け入れ 短時間勤務制度 女性営業スタッフの活躍 選べる制服	4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を實現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう
	コーポレートガバナンスの強化	コーポレートガバナンスの強化 内部統制システムの整備	
ガバナンス	コンプライアンスの推進	コンプライアンス・リスク管理体制の整備 相談窓口の設置	
			16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリシップで目標を達成しよう

安全な社会づくり

輸送の安全確保

トナミホールディングスグループの交通事故防止への取り組みは、事業の中だけでなく地域社会にまで展開し、安全な社会づくりに貢献していきたいと考えています。

輸送の安全に関する基本的な方針

輸送の安全に関する基本的な方針を設定しています。

1. 当社の安全衛生は、従業員の生活と安全を守ることを基本とする
2. 常に安全・確実・迅速なサービスを提供する
3. 交通事故のない社会を作り上げるための牽引車となるべき行動を取る
4. あらゆる機会を利用し、地域の安全推進企業として社会に信頼されるよう模範行動に徹する

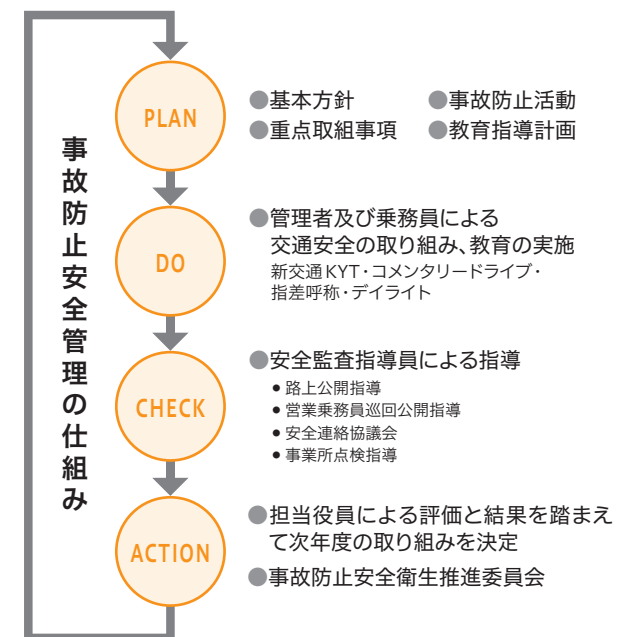
COLUMN 運転適性診断車「あんぜん号」

営業用車両の管理については、日常的に法令を遵守することを基本に、ドライバーとしての適格性を確保・安全運行に努めることを責務として業務に取り組んでいます。その一環として、あんぜん号の事業所巡回による運転適性診断指導を行っています。今後とも、ドライバーの一層の安全適性の確保に努め、運送事業者としての社会的責任を担っていきます。また、地域の交通安全指導にも貢献していきます。



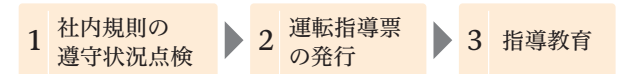
安全管理体制

交通事故防止や労働災害防止などを目標として、事故防止安全衛生推進委員会組織を設置し、常に多様な課題に対して討議を行いながら、安全面・衛生面の向上に取り組んでいます。また、交通安全の取り組みは、PDCAサイクルを回し、継続的な改善を実施することによって、次年度の取り組みにつなげています。



安全管理強化システム

事故防止の強化を図るため、乗務員一人ひとりに3段階評価を実施し、結果に応じた指導を行う「安全管理強化システム」を推進しています。



新入ドライバーの安全教育

ドライバーの新入社員安全教育として、自動車学校の教習コースを使い、安全指導員によるトラック運転技術、整備検査員による車両点検などの安全教育研修を行っています。研修では、トラックドライバーとしての営業知識や任務についての講義のほか、国土交通省の教育指針に合わせ、トラックの特性による死角や内輪差、夜間の目測・色別の体験教育や健康管理など、プロドライバーとしての自覚と事故の未然防止のための運転行動及び安全運転のための留意点などについて教育しています。また、性格検査結果による運転指導やアンケートによるメンタルケアにも取り組んでいます。

家族交通安全ポスター

トナミ運輸労働組合では、事故防止の取り組みとして、組合員の家族のみなさんに交通安全に関するポスターを募集しました。優秀作品は常にドライバーの目に留まる場所に掲示しています。今後も家族の願いを心に刻み、一層の交通事故防止に努めます。

家族交通安全ポスター

「マナーアップキャンペーン」の実施



トナミ運輸では、ドライバーの運転マナーの向上を目的として、毎年「秋の全国交通安全運動」が展開される期間に合わせマナーアップキャンペーンを実施し、ドライバーと管理者それぞれの取り組み事項を明確にすることで妨害運転の追放をめざしています。

ドライバーの取り組み

- 1 適正な車間距離の確保
- 2 信号待ち停車時の前車との車間の確保
- 3 走行中のスマートフォン・携帯電話・携帯端末の使用厳禁
- 4 車線変更3秒ルールの厳守
- 5 車両美化の取り組み

管理者の取り組み

- 1 リーダー会議の開催
- 2 全国一斉店所公開指導の実施
- 3 「妨害運転」の検証実施

危険予知訓練

ドライバーの危険感受性を高めることを目的として、日々の出発前点呼時にKYT(危険予知訓練)を行っています。運転中にひそむ危険要因とそれを引き起こす現象を、写真を使って指差唱和・指差呼称で確認し、考え合いながら、行動する前に解決できるよう訓練しています。



ドライバーの育成

優秀なドライバーを育成するため、教育制度を充実させ、安全運転・事故防止などの指導に取り組んでいます。

- 安全監査指導員による全国の事業所への監査指導と教育
- 営業職リーダー研修
- 国土交通省告示1366号教育
- 乗務職リーダーの班員教育

集配車デジタルタコグラフの更新

トナミ運輸では、かねてから導入計画を進めていた、集配車デジタルタコグラフの更新について、2021年11月の富山支店導入を皮切りに、物流品質マイスター店所を中心とした10店所への先行導入を終え、2022年3月から全店展開を開始しています。今後は特積事業所に加え航空部門や引越部門、通運部門などの車両にも導入していきます。



デジタルタコグラフの特徴

① 通信型

従来は毎日車載器にカードを差し込んで使用開始するタイプでしたが、今回導入したのは通信型のデジタルタコグラフです。カードの管理が不要になり、帰店後の日報出力作業も軽減されました。

② GPSによる位置情報

車載器にGPSが搭載されています。これまで、営業乗務員の作業状況は電話などで直接連絡を取ることでしか確認ができませんでしたが、パソコン上で各車両の所在地や作業内容が一目で確認できるようになりました。

③ メッセージ機能

事務所から営業乗務員への連絡方法が増えました。メッセージの読み上げ機能もあり、運転中でも目を離すことなくメッセージを確認できるようになりました。

④ 2カ所のカメラ

前方ドライブレコーダーと室内カメラが標準装備になり、遠方にいる際も前方カメラでの撮影ができ、実際の道路状況が確認できるようになりました。

バックカメラの導入

主に集配車を中心にバックカメラの取り付けを推進しており、現在までに約2,200台以上のトラックに設置を完了しています。バックカメラを設置することで、後方の安全を明確に確認することが可能となり、後方の追突事故を減少させることができました。

デジタル式運行記録計、ドライブレコーダーやバックカメラの導入により、ドライバーの安全運転をサポートし、さらなる安全な社会づくりに貢献していきます。



フォークリフト後退時のブルーライト点灯

フォークリフト後退時の労災事故、商品事故防止を目的とした取り組みとして、ブルーライトの設置を行い、2020年7月にトナミ運輸すべての店所で所有しているフォークリフトに設置が完了しました。

社員の反応として、「リフトの後退音に加えてライトの設置により、耳と目で確認することができ、作業中や台車移動中の早い段階で危険を回避することができる」と好評を得ています。



回転灯

ライト点灯

COLUMN 取材を受けました

2021年12月14日にデジタルタコグラフの導入を進めていた富山支店が、NHKとやま放送局から取材を受けました。導入前のトライアル期間中に北陸地区は大雪となりましたが、デジタルタコグラフの機能を活用して無事故で乗り切った堀井支店長がインタビューを受け、ニュースのコーナーで紹介されています。



ドライブレコーダーの導入

ドライブレコーダーの導入を推進しており、運行車や集配車に取り付けています。ドライブレコーダーは事故処理時だけではなく、管理者がドライバーの運転画像をチェックして



安全運転指導を行い、交通事故防止のために役立っています。

安全性優良事業所(Gマーク)

公益社団法人全日本トラック協会が認定する、安全性優良事業所(Gマーク)の取得を推進しています。Gマークを取得することにより、お客様に安心して当社グループを利用して頂く基準となるとともに、グループ全体の安全性の向上に対する意識を高めるための環境整備を図るという目的があります。今後はさらにこの取り組みを推進し、より高い安全性を追求していきます。



安全性優良事業所認定証

COLUMN ハイウェイレディ

トナミ運輸は、富山県高速道路交通安全協議会の委託を受けて、当社社員をハイウェイレディとして派遣し、高速道路を利用するドライバーなどの交通安全意識の向上を目的に、富山県内のインターチェンジやサービスエリアで安全運転を呼びかけています。



呉羽パーキングエリア交通安全街頭キャンペーン

物流品質向上

トナミホールディングスグループは、総合物流企業として社会に寄与し、常に安全、確実、迅速なサービスを提供し、顧客ニーズに対応しています。



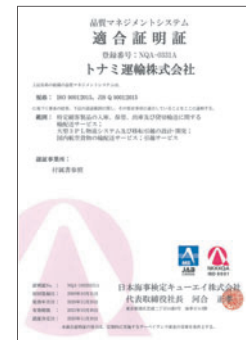
品質目標

- 顧客の要求事項を満たし、信頼と満足を戴きます。
- 品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善します。
- 法令、規則、社会規範を遵守します。
- 組織の各部署で具体的な品質目標の設定をします。
- 品質目標の達成度を検証し、見直します。

物流品質向上のための社員への教育

トナミ運輸は物流サービスの提供にあたっては、効率化を図り、さらにより高い品質をめざし、事業が絶えず成長を続けるため、品質方針に基づいて行動します。“会社主導”の取り組みから“現場が主役”の取り組みへ社員一人ひとりが自ら考え、行動する生きた組織を目標とし、日々社員の意識向上のための取り組みを促進しています。

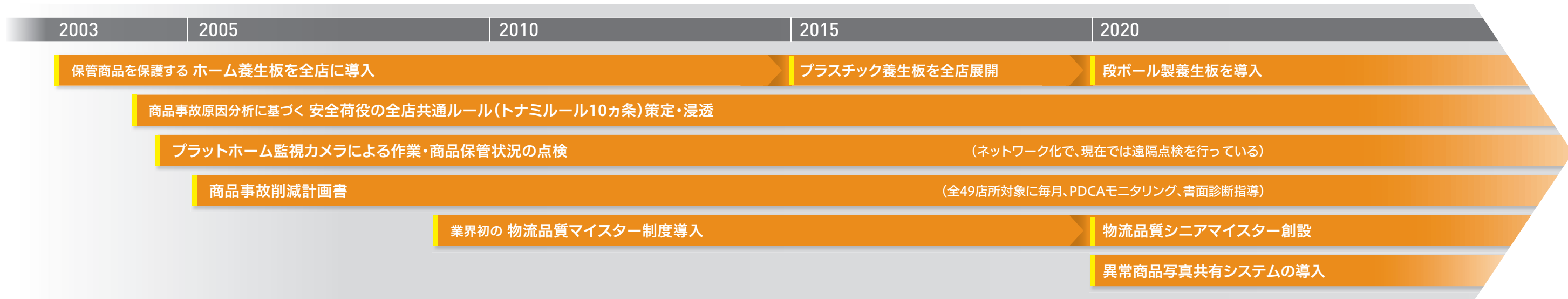
また、トナミ運輸全事業所において「トナミ・クオリティ10」を展開し、さらなる物流品質の向上をめざしています。



ISO9001 適合証明書

トナミ品質づくりの歩み

トナミ運輸は2003年から全社を挙げて組織的に物流品質向上に取り組みました。商品事故防止のプロである保険会社の協力も得て、商品事故分析に基づく対策のルールを10ヵ条にまとめ、社内で浸透を図ることから始めました。その後、全店所を対象にした専用のPDCAシートによるモニタリング、店所への訪問、ネットワーク型の監視カメラを使って遠隔での現場点検が取り組みの柱となりました。その他、オリジナルの研修DVDビデオやお客様向けの品質パンフレットも自主制作し、トナミ品質の標準化を図り、また理解を深めるツールとして活用しております。



2003

ホーム養生板を全店に導入

トナミ運輸では、ホーム上のパレット商品やそのほか保管中の商品を守るため、養生板を使用しています。当初の養生板は横90cm×60cm程のベニヤ板を2枚つなぎ合わせたものが主流でした。



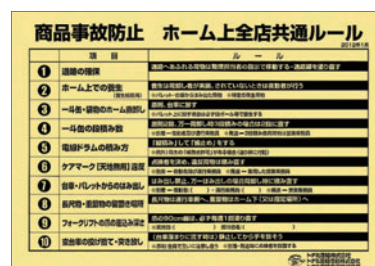
木製養生板

2004

全店共通ルール10ヵ条(トナミルール)

作業品質を全店所標準化するために、ホーム上全店共通ルールを定めています。

- 商品事故対策のプロである保険会社の協力を得て、トナミの商品事故パターンを分析
- 人間工学に基づく最も効果的な対策を10の独自ルールに整理し、全店所に浸透



2004

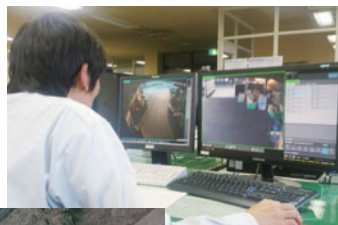
監視カメラの設置

プラットホーム上に「24時間監視カメラ」を設置し、商品事故防止に活用し本社からも遠隔監視をしています。

トラックからの積卸しやホーム上での荷扱い、フォークリフト操作などを常時モニタリング・録画し、遠隔からのリモート点検や社員の安全作業指導に役立てる取り組みをしています。

また、現場レイアウトの見直しなど、幅広くカメラを活用しています。

(全58店所中50店所設置済み)



2005

商品事故削減計画書(月次品質PDCA)

全店所が毎月提出する商品事故の取り組みの計画と振り返り結果を、本社、主管支店、保険会社で全てレビューし、個別に添削指導を行い、管理の徹底を図っています。

- ①全店所対象(49店所)
- ②毎月初に必ず作成
- ③支店長・所長が作成
- ④物流品質マイスター、主管支店長、主管業務課長、本社輸送品質推進部長、保険会社の5者全員が指導コメント後、店所長に返却。当月の活動に反映
- ⑤16年以上続けています
- ⑥各店所の実態が良く分かります
- ⑦手書きにこだわっています



2009

物流品質マイスター制度

トナミ運輸独自の「物流・安心品質づくり」のノウハウの継承を促進する有効な手段として、物流業界では類を見ないものであり、輸送品質のさらなる向上をめざし「お客様の高い評価と信頼を勝ち取る品質の実現」を目的として、2009年10月から制度を導入し、マイスターを任命しています。

また、2020年度より、物流品質マイスターとして活動してきた中での経験や知識・指導力を後任のマイスターに受け継いでもらうためのアドバイザーとして、物流品質シニアマイスター制度を新設し、2021年度は2名任命しました。

過去5年間の実績として商品事故を約40%削減することにも成功し、そのほか、新たな「物流品質向上」に向けた取り組みの先行導入を検証する役目も担っています。

活動内容

- ① 管轄主管店所の現場点検
- ② 物流品質マイスター会議開催
- ③ 物流品質マイスターニュースの発行
- ④ 荷主品質会議に出席
- ⑤ 主管支店主催の担当者会議に出席
- ⑥ 取り組み先行導入の検証実験



2015

プラスチック養生板を全店展開



プラスチック製養生板

2015年からは、より使いやすいプラスチック製の養生板を全店所に展開しました。

2020

段ボール製養生板を導入

2020年2月に段ボール製養生板を導入しました。様々な色があったものを黄色一色に統一したことで、警戒色として目立つため、今まで以上に保管時の商品に対する社員の意識が高くなり、併せて商品への取り扱いが丁寧になりました。現在、全社に約13,000枚を導入し、商品保護を行っています。また、段ボール製であり、環境にも配慮した商品事故防止アイテムとして導入しました。



段ボール製養生板

2020

異常商品写真共有システムの導入

トナミ運輸では、お客様からの「異常発生時の連絡を早くしてほしい」「異常が発生した際は、該品の写真をすぐに送ってほしい」といった声にお応えするために、ドライバーが使用する携帯端末で商品の写真を撮影することにより、事務員がその写真を共有できるシステムを構築しました。全社への導入は、2020年10月に完了しました。

お客様への早期連絡に加え、社員の商品事故防止への意識向上、発生場所の特定による再発防止にもつながっています。



異常商品の写真を共有

発店、着店のパソコンで閲覧が可能



お客様へタイムリーな連絡が可能



環境保全への取り組み



カーボンニュートラルへの取り組み



CO₂などを中心とする温室効果ガスの増加は、地球温暖化に大きく影響します。低公害車の導入や、輸送の効率化、各種省エネ設備の導入など、温室効果ガス削減のための取り組みを積極的に進めています。

CO₂排出量の削減に向けて

トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国は、エコドライブの実践や低公害車や省エネ設備の導入など環境負荷低減への取り組みを進めた結果、2021年度のCO₂総排出量は95,518t-CO₂となりました。これにより2017年度比で約93.4%削減することができました。

また、エネルギー使用の合理化に関する法律(省エネ法)において特定貨物輸送事業者として、貨物輸送のために使用した燃料から発生するCO₂総排出量を2021年度までに2017年度比で5.5%削減することを目標にし、4つの項目に取り組んでいます。その結果、2021年度のCO₂総排出量は81,420tとなり、2017年度の82,500t-CO₂と比較して約1.6%削減することができました。

2017～2021年度のCO₂排出量(トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国全事業所と全車両(リフト含む)対象)

使用エネルギー	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2017年度比
軽油	85,432	84,351	81,250	79,859	82,681	96.8%
ガソリン	947	798	726	701	715	75.5%
A重油	282	231	217	213	224	79.3%
LPG(リフト)	749	764	686	604	613	81.9%
CNG	2,470	2,307	1,913	1,568	1,434	58.1%
LPG(湯沸)	312	297	286	283	278	89.0%
灯油	187	183	147	195	82	43.9%
都市ガス	30	30	28	23	25	82.0%
電力	11,825	11,806	11,260	10,029	9,467	80.1%
CO ₂ 総排出量	102,232	100,765	96,513	93,473	95,518	93.4%
そのうち輸送に伴うCO ₂ 総排出量	82,500	81,400	79,980	78,530	81,420	98.7%

※温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧(2010.3改正)参照

2017～2021年度の取り組み(特定貨物輸送事業者として)

取り組み項目	期待効果	進捗状況(2021年度)
エコドライブの実践 全車両/燃費3%の向上	原単位3.0%向上 (2,054 t-CO ₂ 削減)	デジタル式運行記録計の活用や エコドライブ教育などを継続的に実施中
輸配送コースの見直し 実車率の向上 (運行車1運行5km、集配車10km/月)	原単位1.0%向上 (678 t-CO ₂ 削減)	車両の走行キロ削減などの効率化を推進中
輸送効率の改善 積載率1%の向上	原単位1.0%向上 (471 t-CO ₂ 削減)	車両積載率89.8% (2020年度比2.5%向上)
モーダルシフトの実施 長距離運行系統 (東京～広島)の鉄道コンテナ化	原単位0.5%向上 (500 t-CO ₂ 削減)	鉄道によるコンテナ輸送継続実施中

EVトラックの導入

トナミ運輸は、2022年3月、脱炭素社会実現に向けた取り組みを推進するとともに、ESG経営の取り組みの一環として、富山支店にEVトラックを2台導入しました。当社グループ初、そして富山県でも初のEVトラック導入となり、また、EVトラックとしては全国初のサイドオープン車仕様となっています。



EVトラック

1. 車両の仕様について

- ① 車両メーカー 三菱ふそうトラック・バス㈱製
- ② 最大積載量 3.0トン
- ③ 充電時間 普通充電 約11時間(日中の集配業務で利用することから夜間充電する。)
- ④ 航続距離 JE05モードで100km
JE05モードは中・大型車(主にディーゼル重量車)に実施される燃費の試験モード(過渡走行モード)。
- ⑤ 安全装備 衝突被害軽減ブレーキ、車両安定性制御装置、車線逸脱警報装置

2. 運用について

- ① 所属事業所 トナミ運輸(株)富山支店(富山県富山市宮町)
- ② 運用内容 富山市内エリアで日中集配業務に利用
- ③ 運用開始 2022年3月4日より

3. 今後の取り組みについて

CO₂や汚染物質を排出しないゼロ・エミッション輸送をめざし、今回の導入による実地検証を踏まえて全国展開に向けた導入を検討していきます。

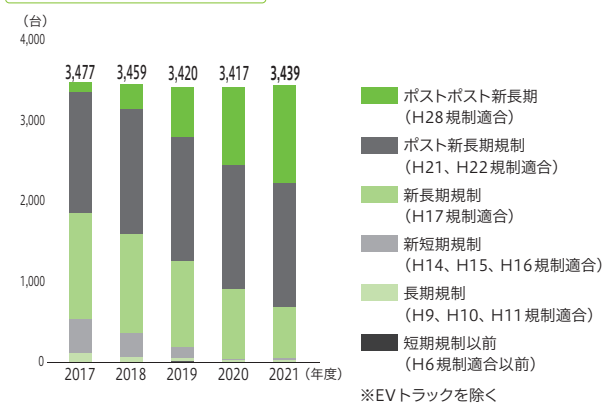
環境にやさしいトラックの導入

輸送に関わるNO_x、PMなどの大気汚染物質削減を図るため、環境に配慮したトラックを導入しています。2021年度はトナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国は、新たに252台を導入し、そのうちハイブリッド車は37台導入しました。



ハイブリッド自動車

トラック保有実績の推移 (トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国)



太陽光発電所稼働



2020年5月、富山県南砺市に保有する遊休地を利用したのを始め、2021年3月までに、全21カ所の物流施設の屋根に太陽光パネルを設置し稼働しました。最大出力は合計で8,381.27kw、2021年度の年間発電量は9,364,194kWh、想定年間CO₂削減量は3,740,996kg、想定年間石油削減量は2,125,672ℓ、森林面積に換算すると1,048haになります。発電した電力は全量売電しています。この事業は2012年に開始された「再生可能エネルギー固定価格買取制度」(FIT制度)を活用したもので、CO₂を削減する取り組みの一つとなっています。

一般家庭の平均年間電力消費量に置き換えると 9,364,194kWh ÷ 4,892kWh/年 = 約**1,914**世帯分

※太陽光発電協会表示ガイドライン(2021年度)より

設置店名	設置場所	稼働年月	パネル容量(kw)	年間発電量(kWh)	年間CO ₂ 削減量(kg)	年間石油削減量(ℓ)	森林面積換算(ha)
南砺所有地	富山県南砺市	2020年 5月	718.20	790,145	315,663	179,363	88.40
黒部物流センター	富山県下新川郡	2020年 9月	227.85	235,625	94,132	53,487	26.40
富山支店	富山県富山市	2020年 9月	573.50	610,362	243,840	138,552	68.30
京阪流通センター	京都府八幡市	2020年 9月	334.95	388,360	155,150	88,158	43.50
金沢流通センター	石川県野々市市	2020年 9月	573.50	634,669	253,550	144,070	71.00
新潟支店	新潟県新潟市	2020年10月	67.89	77,451	30,942	17,581	8.70
能登支店	石川県羽咋郡	2020年10月	67.89	73,466	29,350	16,677	8.20
熊谷支店	埼玉県熊谷市	2020年10月	206.25	241,652	96,540	54,855	27.00
黒部営業所	富山県黒部市	2020年11月	266.60	271,853	108,605	61,711	30.40
小杉流通センター	富山県射水市	2020年11月	390.60	385,825	154,137	87,582	43.20
川崎支店	神奈川県川崎市	2020年11月	358.05	413,317	165,120	93,823	46.30
トナミ運輸信越(株)本社	新潟県新潟市	2020年11月	67.89	77,021	30,770	17,484	8.60
大阪中央支店	大阪府大阪市	2020年12月	501.60	588,085	234,940	133,495	65.80
富士支店	静岡県富士市	2021年 2月	485.65	604,217	241,385	137,157	67.60
久喜支店	埼玉県久喜市	2021年 2月	808.50	940,921	375,898	213,589	105.30
神戸支店	兵庫県神戸市	2021年 2月	183.70	227,954	91,068	51,746	25.50
京神倉庫(株)富山支店	富山県砺波市	2021年 2月	514.60	504,715	201,634	114,570	56.50
相模支店	神奈川県海老名市	2021年 3月	546.70	634,095	253,321	143,940	71.00
加古川支店	兵庫県加古川市	2021年 3月	233.85	272,955	109,046	61,961	30.50
浦和支店	埼玉県さいたま市	2021年 3月	584.10	684,049	273,278	155,279	76.50
中央支店	富山県射水市	2021年 3月	669.40	707,457	282,629	160,593	79.20
合 計			8,381.27	9,364,194	3,740,998	2,125,673	1,047.90

TOPICS リニューアブルディーゼルの幹線輸送での実証利用開始

トナミ運輸は、2022年8月に、伊藤忠エネクス(株)、(有)佐藤石油店との3者により、リニューアブルディーゼル(以下RD)の給油拠点を佐藤石油店の飛鳥トラックステーションに設置し、このRD給油拠点を活用したトナミ運輸の幹線輸送での実証利用を開始しました。

トナミ運輸相模支店と中京エリアの事業所間の運行ルートにおいて、従来の軽油に変わる代替燃料としてRDを使用し、利用可能性を実証実験しています。



リニューアブルディーゼルを使用する運行車

特別積合せ事業のRDの使用は、国内業界で初めてとなります。この取り組みは、伊藤忠商事がNESTE社とRDの日本国内向け輸入契約を締結、伊藤忠エネクスが国内のRD輸送及び給油に係る一連のサプライチェーンの構築を行ったことにより実現しました。

今後も長期的な視野に立った気候変動のさらなる取り組みを推進していきます。
リニューアブルディーゼル(RD)
廃食油や動物油などを原料として製造され、温室効果ガスの排出量が軽油比約90%削減を実現する次世代燃料

エコドライブの実践

エコドライブとは、一言で言うと「環境に配慮した経済運転」のことです。やさしい発進を心がけたり、無駄なアイドリングを止めるなどを行って燃料の節約に努め、地球温暖化に大きな影響を与えるCO₂の排出量を減らす運転を実践しています。

エコドライブ推進の取り組み

エコドライブは、「地球環境にやさしい」「燃料費の節約」「安全運転につながる」「車両にやさしい」と、一石四鳥であることをドライバーの一人ひとりが認識し、その結果は、社内表彰制度で、エコドライブ成績優秀者を表彰しています。

エコドライブ表彰者 COMMENT



横浜営業所 1班リーダー
新妻 則勝

この度は、エコドライブ
優秀賞を頂き光栄です。

燃料が高騰する中、班内でどうやったら燃費向上につながるか考えエンジン回転数、シフトチェンジのタイミングなど、一人ひとりがやさしい運転を心掛けた結果だと思えます。今後もエコドライブを実践してまいります。

駐停車時はアイドリングストップ

アイドリングストップワイヤー(キー抜きロープ)をすべての集配ドライバーに携帯させ、短時間車を離れる際も、必ずエンジンをストップするようにしています。北陸トナミ運輸では、ドライバー一人ひとりのアイドリング時間を管理し、意識付けを行うとともに優秀者を表彰しています。

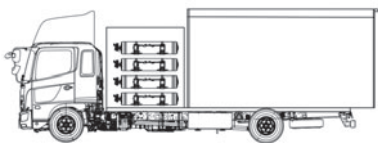
エコドライブ教育

トナミ運輸は、ドライバー研修や新入社員教育時に、省燃費運転、自動車の適切な点検・整備の仕方、省燃費運転の注意事項について周知徹底を図っています。また、社会活動の要請を受け、『エコドライブと交通安全』について講師を派遣し、地域社会のエコドライブへの取り組みに協力しています。

水素トラックの実用化に向けて

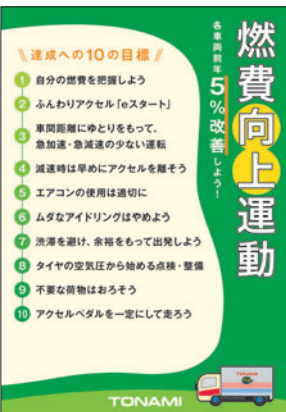
トナミ運輸は、(株)フラットフィールド、東京都市大学、北酸(株)、(株)早稲田大学アカデミックソリューションとの共同研究により、トラック用の水素エンジンがディーゼルエンジン並みの出力を得ることに成功しました。開発した水素エンジンを搭

載した車両を2022年度中に完成させ、2026年度の実用化をめざしています。



水素エンジンを搭載した水素トラックのイメージ

「燃費向上運動」の実施



燃費向上運動ポスター

トナミ運輸では、「燃費向上運動」として10の目標を設定することで、エコドライブとアイドリング・ストップを促進し、CO₂排出の削減に取り組んでいます。

屋上緑化設備

節電対策の1つとして、トナミ運輸川崎支店の睡眠室棟に屋上緑化を採用しました。夏場は外からの熱流入を81%カットし、冬場は室内からの熱放出を45%カットできる点が特徴となっています。このためエアコンの使用量が減り、年間2,600kWhの節電と1.8t-CO₂排出量の削減をしています。



屋上緑化

「トナミの森」CO₂排出量削減・里山再生プロジェクト

トナミ運輸労働組合では、組合結成70周年を迎えたことを機に、2016年より森づくり活動を通じて、CO₂削減による地球温暖化及び荒廃しつつある里山再生に貢献する活動を行っています。初年度に苗木250本を植栽し、それを維持するよう、定期的に捕植や除草、水やりなどを実施しており、累計で400本の苗木を植樹してきました。

2021年も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、役員が集結して捕植などを行うことはできませんでしたが、蕾が芽吹いた苗木のように、いつか開く明るい未来に向けて、



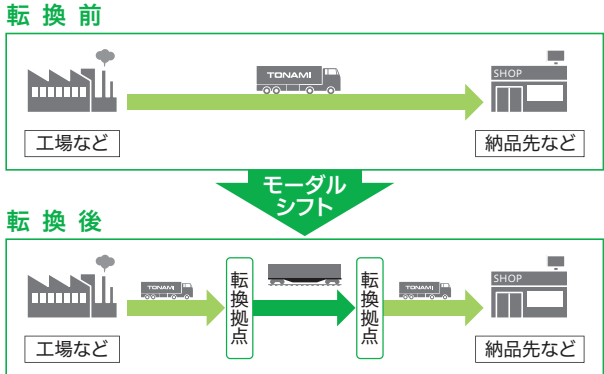
植樹した苗の成長のようす

今後も役員が一丸となって活動を継続し、将来、花と緑にあふれ、そして意図するCO₂削減と里山再生を果たすことができるよう、社会貢献活動に全力を注いで取り組んでいきます。

地球環境にやさしいコンテナ輸送でCO₂を削減します

JRコンテナ輸送のモーダルシフトを推進しており、トラック輸送の削減による環境負荷低減と同時に、交通事故防止や長距離運行などの効率化につなげています。

モーダルシフトの仕組み



環境マネジメント

私たちは、安全で確実・迅速な輸送サービスをお客様に提供し、ご満足頂くことが第一の使命であると考えます。同時に私たちを取り巻く環境問題についても、私たちにふさわしい責任を果たすことをめざします。

環境方針

トナミ運輸は、環境活動を推進するための環境マネジメントに取り組んでいます。次の環境方針を定め、様々な活動に目標を持ち、結果を見直し、継続的改善に向けて、体制強化に努めています。

地球環境を守る事は、あらゆる生命の生存に関わる最重要テーマであると認識し、「輸送を通じ社会に寄与し、地球環境の保全に努める」を基本理念として、以下の方針に基づいて取り組みます。

1 輸送サービスを提供することによって生じる環境汚染に対して、次の事を守ります。

- ① 環境に優しい車の導入を図ります。
- ② エコドライブの実践に取組みます。
- ③ 物流の効率化を通じて、地球環境に優しい物流システムを構築します。
- ④ リサイクルシステムを構築し、循環型社会づくりに貢献します。
- ⑤ 環境に優しい商品の開発、提供を推進します。
- ⑥ 省資源、省エネルギーに継続的に取組み、日々、改善を図ります。

2 環境に関する国・地方自治体等の法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守し、環境保全に努めます。

3 環境目的及び環境目標を具体的に定め、定期的にレビューを実施し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を致します。

4 社内環境教育、啓発活動を通して全従業員に本方針を周知すると共に、一般にも公開し、さらに、地域社会への環境保全活動に積極的に参加します。

TOPICS 水素燃料電池フォークリフトのモニター導入

トナミ運輸は、2022年8月に、一般社団法人 富山水素エネルギー促進協議会の水素燃料電池フォークリフト(以下FCフォークリフト)の導入実証事業に参加し、モニター導入1号として、FCフォークリフトの利用を1週間行いました。FCフォークリフトは、CO₂・NO_x排出量がゼロ、約3分の水素充填で8時間稼働でき、非常用電源としても使用可能です。

今後も長期的視野に立った気候変動へのさらなる取り組みを推進していきます。



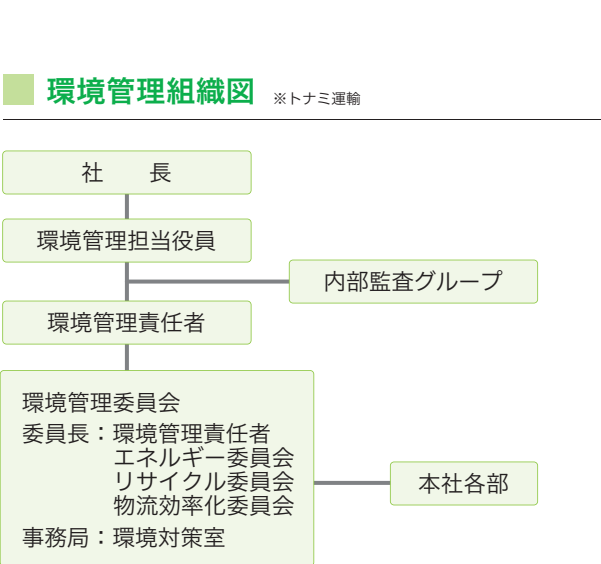
水素燃料電池フォークリフトでの積込作業

ISO14001(環境マネジメントシステム)の活動

トナミ運輸は、2003年10月、本社において環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しました。以来、毎年、の定期審査と3年ごとの更新審査において、基準に適合していることを認証されています。

今後も環境負荷軽減のための目標を設定し、1.Plan(計画)2.Do(実行)3.Check(点検)4.Action(見直し)を繰り返すことによって、その達成に向けた取り組みを実践し、継続的改善を図っていきます。

ISO14001 適合証明証



環境負荷軽減への取り組み

当社グループは、「Do Eco!」をスローガンに社員一人ひとりが日常、気軽にできる5つの取り組みを設定しています。



Do Eco! ポスター

グリーン経営認証の取得状況



グリーン経営認証登録証

当社グループの物流事業会社9社は、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団が運営しているグリーン経営認証制度において適合していることを認証されています。今後もグリーン経営推進マニュアルに基づきエコドライブや低公害車の導入などの取り組みを実施しながら、物流における環境保全の実効性向上につなげていきます。

グリーン経営認証取得会社

トナミ運輸 富山支店 南大阪支店	阿南自動車 本社 長野営業所 豊科営業所 松本支店 諏訪営業所 伊那支店 飯田支店	北海道トナミ運輸 東北営業所 江別営業所 帯広事業所 岩手営業所 道央営業所 室蘭事業所 苫小牧営業所
福井トナミ運輸 敦賀本社	北陸トナミ運輸 本社営業所	
高岡通運 本社	京神倉庫 葛西支店 久御山支店 箕面支店	新生倉庫運輸 広島中央支店 広島東部支店 広島西部支店 岡山支店 防府営業所
ケーワイケー 本社		

TCFD提言への賛同

トナミホールディングスは、2022年7月に金融安定理事会(FSB)により設置された気候関連財務情報開示タスクフォース(以下TCFD)」の提言への賛同を表明いたしました。

当社グループは、第22次中期経営計画(2021年4月1日～2024年3月31日):コーポレート・スローガン『TONAMI NEW PLAN2023』の取り組みを進めており、新しい経営ステージをめざし、EVトラックの導入や物流施設での太陽光発電の展開などの環境活動を通じて、持続的な発展に努めています。これからも長期的視野に立った気候変動へのさらなる取り組みを推進し、サステナブルな社会の実現に貢献するため、この度TCFD提言への賛同を表明いたしました。

今後、TCFD提言に基づく情報開示を行う予定をしています。



リサイクルの推進

廃棄物削減に向けて従来の取り組みを見直し、継続的改善に努め、ゴミ減量化とリサイクルの推進を行っています。



「水素バリューチェーン推進協議会」へ参画

トナミ運輸は、2021年3月「水素バリューチェーン推進協議会」に参画しました。同協議会は、水素社会の早期構築に向けステークホルダーの皆様と今後取るべき戦略の大きな方向性について議論を重ねており、水素分野におけるグローバルな連携や水素サプライチェーンの形成推進を目的とした団体です。

トナミ運輸は16年前から水素に関する取り組みを進めており、今後も物流事業者として水素エネルギー利用をはじめとした脱炭素物流への取り組みを加速させてまいります。

水素バリューチェーン推進協議会

英語名：Japan Hydrogen Association
略 称：JH2A



- ◆目的：サプライチェーン全体を俯瞰し、業界横断的かつオープンな組織として、社会実装プロジェクトの実現を通じ、水素社会の早期構築
- ◆設立日：2020年12月7日

古紙再生トイレットペーパーの販売



トナミ運輸では古紙再生トイレットペーパーの販売を行っています。

原料となる古紙は、主に法人から出る機密文書や一般印刷物であり、資源循環型社会づくりに結びつけています。

販売数は2021年度で156,024ロール、2022年度は160,000ロールを見込んでおり、これによるCO₂の吸収量は5,600kgに相当します。

当社のトイレットペーパーは環境省所管の公益財団法人日本環境協会によるエコマーク（認定番号04108015）を取得しており、そのために提携の製紙工場には資源採取から生産、流通まで一貫した省資源、省エネルギーに継続的に取り組んで頂いています。

当社の古紙再生トイレットペーパー販売は、単なるリサイクル商品の販売ではなく、環境方針にある「環境に優しい商品の開発と提供」「リサイクルシステムを構築し循環型社会づくりに貢献する」「省資源、省エネルギーに継続的に取り組む」に基づいた活動となっています。

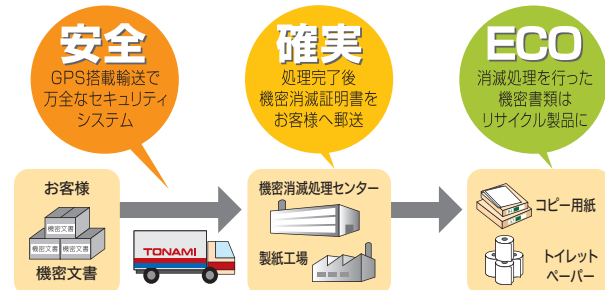
使用済みコピー用紙・ラップ・段ボールのリサイクル

使用済みコピー用紙は裏面利用の徹底を図っており、機密文書については、各事業所に設置してあるエコポストへ入れる習慣を身に付けています。エコポストに入っている「エコロック」という段ボールは、トナミ「エコロックシステム便」により万全なセキュリティ体制のもと輸送され、消滅処理を行ったのちリサイクル製品へと生まれ変わります。

また、荷物の運搬や梱包に使用したラップや段ボールなどを分別して収集し、特定の業者に依頼しリサイクルを推進しています。

エコロックシステム便

オフィスで不要になった重要書類を、安全・確実に回収・消滅いたします。

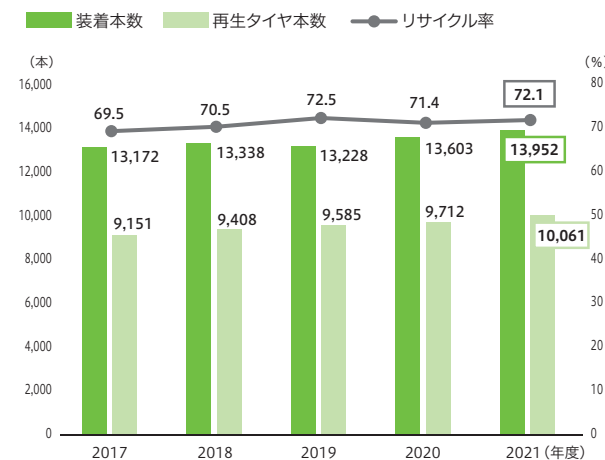


使用済みタイヤのリサイクル

資源の有効利用を図るため、使用済みタイヤはすべて再生タイヤメーカーに引き取ってもらっています。また、積極的に再生タイヤを使用しています。

使用済みタイヤのリサイクル実績の推移

(トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国)



社会とのつながり

地域社会とのコミュニケーション

福祉施設への支援活動や次世代育成など、様々な地域活動に参加し、社会に貢献しています。

新型コロナウイルス感染症対策への取り組み

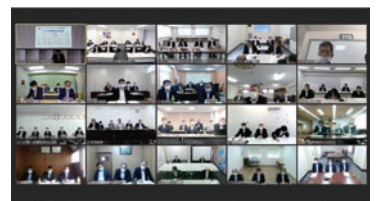
対策本部の設置

トナミホールディングス代表取締役社長を本部長とする対策本部を設置し、国内外の感染拡大状況、政府及び専門家会議の見解を踏まえつつ、感染拡大防止策を講じています。

職場外	<ul style="list-style-type: none"> ●全社員の出社前の検温実施と体調の確認 ●コロナワクチン接種による「ワクチン休暇」導入 ●日常行動自粛指示 ●公共交通機関利用者への通勤手段の見直し ●体調不良時の対応の徹底 ●感染拡大防止を目的とした臨時休校への対応 				
職場内	<p>全職場共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル・ハンドブック」の配布 ●手洗い・うがい・手指消毒・咳エチケットの実施 ●換気の徹底 ●消毒清掃の実施 ●出張、会議、研修の自粛、WEB会議の実施 ●事務所各机に、飛沫感染防止のためのパーテーションやビニールシートの設置 <table border="1"> <thead> <tr> <th>オフィス</th><th>物流センター</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●テレワークの実施 ●受付、応接室の亚克力板使用 ●アルコール消毒設置 ●サーモグラフィー設置 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> ●作業用間仕切り設置 </td></tr> </tbody> </table>	オフィス	物流センター	<ul style="list-style-type: none"> ●テレワークの実施 ●受付、応接室の亚克力板使用 ●アルコール消毒設置 ●サーモグラフィー設置 	<ul style="list-style-type: none"> ●作業用間仕切り設置
オフィス	物流センター				
<ul style="list-style-type: none"> ●テレワークの実施 ●受付、応接室の亚克力板使用 ●アルコール消毒設置 ●サーモグラフィー設置 	<ul style="list-style-type: none"> ●作業用間仕切り設置 				
感染または感染が疑われる場合	<ul style="list-style-type: none"> ●体調不良を理由とした休業者の症状などの対策本部への報告と、感染者発生場所における消毒作業、作業運営体制の確保 ●感染が確認された社員の休業中の体調確認と勤務可否判断 				



倉庫作業用間仕切り設置



WEB会議のようす



受付亚克力板設置

アルコール消毒とサーモグラフィー設置

福祉支援活動

一般財団法人トナミホールディングス松寿会は、1994年3月にトナミ運輸（現トナミホールディングス）の創立50周年記念事業として、社会福祉の増進を図り、もって豊かで住みよい社会の発展に寄与することを目的に設立された団体です。

2014年4月1日、富山県内に限定されていた事業活動を全国で、かつ、より自由に行えるように財団法人から一般財団法人へ移行し、同時にトナミ松寿会からトナミホールディングス松寿会へ名称変更しました。

2021年度は北陸地域の4福祉団体へ福祉車両を1台ずつ寄贈しました。また、災害助成事業として、富山県共同募金会を通じて令和3年7月豪雨災害義援金100万円、福島県共同募金会を通じて令和4年福島沖地震災害義援金100万円を寄付しました。このほか、富山県内外10ヵ所のこども食堂へ合計130万円の寄付を行いました。

福祉車両寄贈先の方からは、「利用者の方から“このイラストかわいい!”、“この車両に乗りたい”と言われています」と好評を頂いております。

また、こども食堂の運営者の方からも「開催回数を増やすことができました」「助成金で高価でなかなか買うことができなかった備品を購入できました」などと感謝の言葉をたくさん頂いています。



贈呈式の様子



砺波市社会福祉協議会のみなさま



やなぎまち子ども食堂のみなさま

交通遺児支援募金

トナミ運輸労働組合は、組合員から寄せられた募金181,728円を交通遺児支援に役立ててもらうため富山県善意銀行に預託しました。

業務上、道路を利用することから、2011年から毎年募金を呼び掛けており、2021年度は組合員約600名が協力しました。地域貢献活動の一環として、これからも続けていきたいと思います。

備蓄品の設置

トナミ運輸では、近年、未曾有の災害が多発していることから、事業継続計画（BCP）を策定し、社員の安全確保及びエッセンシャルワーカーとしての責務を果たすため、リスクマ



ネジメントを行っています。

その一環として、災害発生時に備えて各店所に水・食料・防寒具などの災害対策用品を備蓄しています。

AEDの設置について

日本では、心臓突然死で命を失っている方が、1年間で約7.9万人、1日で約200名いると言われています。

トナミ運輸では、心臓突然死の主な原因である「心室細動」が起こり心臓への電気ショックが必要となった場合に備え、各事業所に1台、合計72台のAED（自動体外式除細動器）を設置しました。誰でもすぐに使えるような目立つ場所に、救命の流れをわかりやすく表したポスターとともに設置し、また、使用講習会の実施をはじめ、いつでも使用方法を確認できるよう、社員のパソコンには、一連の使用方法、救急車が到着するまでの対応についての動画がダウンロードされています。このほか、事業所のパソコンには定期的にデジタルサイネージでAEDの設置について掲示しています。

また、社員だけでなく、近隣で発生した万一の事態への開放使用も想定し、地域社会への貢献もめざします。



AEDポスター



AED

「ラッピングトラック」の走行スタート

トナミ運輸では、一般社団法人富山県トラック協会が富山県内の小学生児童を対象に開催した「第1回わたしたちの夢のトラック“こんなトラックがあったらいいな”小学生絵画コンクール」で入賞した2作品について、トラックの荷台側面にプリントを施した「ラッピングトラック」の走行を2021年10月から行っています。

これは富山県トラック協会が、将来を担うこどもたちに、物流の主役である「トラック」を身近に感じてもらうとともに「トラック運送事業」に関心を持ってもらうことを目的として開催した絵画コンクールです。当社もこの取り組みに対する趣旨に賛同し、協力しています。ラッピングトラックは給食配送業務専属車両で、10月9日に富山県トラック協会で出発式が行われ、富山市内の学校給食センターと小学校の往来で市内を走行しています。



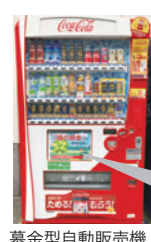
ラッピングされたトラック

募金型自動販売機の導入

トナミ運輸では、提携のベンダー企業に協力を依頼し、募金型自動販売機を導入しました。

地球温暖化対策が求められている中、わずかでもCO₂削減に貢献したいと考え、「緑の募金」に寄付できる自動販売機の導入を決めました。

収益金の一部は地方緑化推進委員会を通じて公益社団法人国土緑化推進機構に寄付され、全国の緑化推進活動費用に



募金型自動販売機



充てられます。今後はこの活動を当社グループ各社に広め、環境にやさしい活動への取り組みを推進していきたいと考えています。

フードパントリーの協働開催

2022年3月12日に高岡市母子寡婦福祉会が開催したフードパントリーに輸送協力として参加しました。これは、フードバンク団体であるセカンドハーベストジャパンが、関東圏外で初のフードパントリーへの食品提供にあたり、食品保管倉庫のある埼玉県から、フードパントリー開催場所である富山県高岡市まで、当社が輸送協力を行うことで実現したものです。

当社のドライバーと車両提供により運搬された食品は、高岡市母子寡婦福祉会の会員のうち生活に困窮する未成年の子を持つ60世帯への食品支援を実施しました。会員家族からは、たくさんのお礼のお手紙を頂きました。

フードパントリーの開催には、輸送支援が求められており、トナミ運輸の主力事業である物流を活かした活動として、今後も実施していきたいと考えています。



搬入の様子

ペットボトルキャップの収集

トナミ運輸では、社会貢献活動の一環として2019年11月度より「NPO法人Reライフスタイル」が実施する「ペットボトルキャップ収集活動」に参加しています。集まったペットボトルキャップは樹脂メーカーへ引き渡し、その対価を「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会（JCV）」へ寄付、その後、「国連児童基金（ユニセフ）本部」から世界のこどもたちにワクチンが届けられています。また、ペットボトルキャップをゴミとして燃焼せずマテリアル（材料）リサイクルすることでCO₂排出削減にも寄与されます。

これまでに回収したキャップの数は約116,640個、約233名分のこどものワクチンに該当します。

使用済み切手の寄贈

トナミ運輸では、使用済み切手の収集活動により集まった切手を「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会（JCV）」へ寄贈しています。

寄贈した使用済み切手はJCVを通して換金され、マヤマー・ラオス・ブータン・バヌアツ共和国などのこどもたちが接種するワクチン関連の支援金となります。今までに寄贈した約23,958枚、約0.65kgの使用済み切手は、ポリオワクチンになると約1,000名分のこどもの命を助ける力となります。

ベルマークなどの収集

トナミ商事では、毎年、ベルマークや使用済み切手、書き損じはがきを収集し、高岡市社会福祉協議会へ寄付しています。これまでにベルマーク多数のほか、使用済み切手を1.66kg、書き損じはがき211枚を寄贈しています。

寄贈した切手やはがきは換金され、ボランティア活動の推進や、各種社会福祉事業などに役立てて頂いています。身近に取り組める活動として、今後も継続して収集していきたいと思っています。

こども110番の家



京神倉庫、東洋ゴム北陸販売、ケーワイケーでは、地域社会貢献活動の一環として「こども110番の家」に協力しています。

こども110番の家は、地域児童が様々な事件の他、つきまといや声かけなど、不安を抱く事案に遭遇した際に、助けを求めて飛び込める「緊急避難先」の機能を果たすことを目的とした活動です。

現在までには、幸いにも警察に通報するといったような危険なケースには遭遇しておりませんが、こどもが学校からの帰宅途中、転んでけがをしてしまったため、消毒や絆創膏を貼って応急処置をしたり、トイレを貸してあげたりなどの活動を行っています。

こどもたちが困っている時の手助けになり、少しでも安心な社会づくりに貢献できるように、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。

献血の実施

トナミ運輸では、社会貢献活動として富山県内の事業所において定期的に献血に協力しています。

病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者さんの尊いいのちを救うため、今後も継続的に献血活動に取り組んでいきます。



地域清掃活動

地域環境保全のため、社会の一員として地域のボランティア活動に積極的に参加し、事業所周辺の道路は定期的に清掃しています。



トナミ運輸 浜松支店



トナミ運輸 金沢支店



トナミ運輸 福井支店



阿南自動車



トナミ運輸労働組合 関西支部



トナミ運輸労働組合 東神支部

お菓子の寄贈

阿南自動車では地域ボランティア活動として、荷主である菓子卸(株式会社社種清様・株式会社山星屋様)と菓子メーカー(フルタ製菓株式会社様・株式会社明治様)の協賛のもと、フードロス削減の取り組みも兼ねて地域の団体にお菓子の寄贈を行っています。

2021年は、地元のこども食堂や学童保育といった福祉施設、ワクチン接種会場や総合病院の医療期間など過去最大の8団体に、自治体やボランティア団体の協力を得て寄贈しました。

コロナ禍で日常が制限されてしまっているこどもたちに笑顔を届け、地域の安全のために日々活動して頂いている



菓子贈呈のようす

医療従事者に感謝の気持ちを届けることができました。

インターンシップ

トナミタイランドグループのマハポーン・トランスポート(以下:マハポーン社)は、周辺大学の物流を選考する学生たちを常時インターンシップとして受け入れています。

マハポーン社が位置するレムチャバン港は、タイ最大の国際貨物港です。海上コンテナの取り扱いには世界中で上位に入る規模です。そんなレムチャバン港周辺には物流系学部を有する大学が数校あり、外資系船会社、通関会社、物流会社などをめざす生徒たちが多数います。

2021年度は、所轄税関など役所からの協力要請により物流専攻3年生の学生を5名受け入れています。就業期間は



4か月、書類作成、請求入力、構内軽作業などが学生たちの主たる業務です。インターンシップの受け入れで人材育成に協力し、地域に貢献できればと願い、取り組んでいます。

COMMENT



Jirada Hongyon
ジラダー・ホンヨーンさん

社内では社員の皆さんが、自信を持って元気な声を出していて、「頑張ってるな」って思っています。将来は、ロジスティクスの会社で働きたいです。

どきどきわくわくまち探検 会社見学

2022年6月15日に砺波市南部小学校の2年生7名が「どきどきわくわくまち探検」と題した小学校の体験学習にトナミ運輸 砺波支店を訪れました。

「どきどきわくわくまち探検」とは、こどもたちにとって身近な地域のよさや自分たちの生活との関わりを理解し、地域に



お礼の手紙

親しみや愛着を持ってもらうために行われている校外学習で、砺波支店には6年ほど前から、毎年こどもたちが見学に訪れています。

当社を見学してもらい、こどもたちに地域のよさを感じてもらうことで、地域に貢献できる喜びを実感していきます。

富山マラソン2021に協賛

2021年11月7日に開催された「富山マラソン2021」に今回もブロンズパートナーとして協賛しました。

昨年の大会が新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となり、2年ぶりの開催となった今大会では、ランナーが安心して走れるように感染防止対策に重点が置かれ、出走前の検温や手指消毒が徹底されたほか、スタートを申告タイムで2組に分けるウェーブスタート制が初めて導入。また沿道からの声援自粛が求められた大会運営となりました。

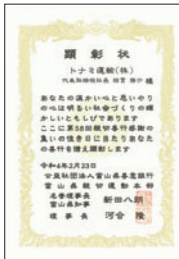
トナミ運輸は、ランナーへの手荷物の積み込み、引き渡しの



ほか、各給水ポイントへのドリンクや「まずずし」「かまぼこ」などの食品配給と引き取りを行い、運営スタッフとしても応援・参加しました。

富山グラウジーズチケットとユニフォームの贈呈

トナミ運輸は、Bリーグで活躍している富山グラウジーズを日ごろから応援しており、ホームゲーム観戦チケット240枚を、富山県内の福祉施設4団体(愛育園、高岡愛育園、ルンビニ園、富山県聴覚障がい者センター)へ、選手のサイン入りユニフォーム2着を富山県聴覚障がい者センターへ寄贈させて頂きました。



顕彰状

富山県聴覚障がい者センターでは、「2022年 新春お年玉プレゼント」として抽選で2名の方にユニフォームが手渡されたそうです。後日、感謝のメッセージとともに写真を送付頂きました。

また、高岡愛育園より推薦を頂き、富山県善意銀行より顕彰状が贈られました。

ユニフォームを受け取った方からのお礼MESSAGE

バスケットボール選手だけでなく、人柄も尊敬している阿部選手のサイン入りユニフォームを頂き、たいへん嬉しく興奮しています。

サイン入りプレイユニフォームは、ブースターの間でも貴重な品です。寄贈して下さったトナミ運輸株式会社様に感謝申し上げます。そして、聴覚障害のある方にも楽しんでいただけるBリーグの魅力をアピールしていきたいと思っています。



プロ・アマスポーツチームへの協賛

トナミ運輸は、地域貢献活動の一環として、様々なスポーツチームを支援しています。

富山グラウジーズ【バスケットボール】

富山県富山市を本拠地としてBリーグに所属するプロバスケットボールチームです。



カターレ富山【サッカー】

富山県をホームタウンとする、Jリーグに加盟するプロサッカークラブです。



富山GRNサンダーバース【野球】

プロ野球独立リーグ・ベースボール・チャレンジ・リーグに所属する富山県のプロ野球チームです。



KUROBEアクアフェアリーズ【バレーボール】

富山県黒部市を本拠地として、Vリーグに所属している女子バレーボールチームです。



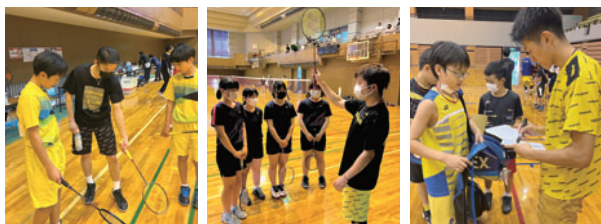
スポーツ支援活動

トナミ運輸 バドミントン部

トナミ運輸バドミントン部は、国内の団体戦・個人戦において優勝上位入賞を収め、国内トップチームに成長しています。そして日本代表選手に選出され、国際大会でも活躍しています。2021年に開催された東京2020オリンピック競技大会バドミントン競技には3名の選手が出場し、男子ダブルスの園田・嘉村ペアが5位入賞を果たしました。また、年末に開催された世界選手権2021大会では、保木・小林ペアが日本男子ダブルス初の優勝を収め、世界ランキング2位に躍進し世界トップで活躍しています。

バドミントン講習会

近隣の行政や市町村バドミントン協会などからの依頼で、ジュニア選手を対象にバドミントン講習会を行っています。また、新型コロナウイルス感染症で自粛生活からスポーツの楽しみが薄れている今、スタッフ・選手が子どもたちと一緒にコートで汗を流し、元気と笑顔を取り戻す活動も行っています。



TOPICS 第26回世界バドミントン選手権大会 男子ダブルス保木・小林ペアが悲願の初優勝 日本勢として初の快挙(ワールドツアーファイナルズとの2冠達成)

2021年12月12日～19日まで、第26回世界バドミントン選手権大会がスペイン・ウエルパで開催され、トナミ運輸バドミントン部所属の保木卓朗選手(26)と小林優吾選手(26)のペアが、決勝で中国の「何済霆・譚強ペア」を退け、世界選手権初優勝を果たしました。世界選手権において男子ダブルスで、日本勢のペアが優勝するのは、史上初めての快挙です。

12月1日からインドネシアで開催されたBWFワールドツアーファイナルズにおいても、日本勢史上初となる世界チャンピオンに輝いており、2冠を達成しました。

選手 COMMENT

保木選手 「うれしいです。それしかないです。いいコンディションを常にキープできたことは、成長したかなと感じていて、この調子をずっと維持できるように来年も頑張りたいと思います。」

小林選手 「ここまでやってきて本当によかったという気持ちと、長い期間試合をしてきたので、今はちょっとだけホッとした気持ちです。」



働きやすい職場づくり

人事制度、教育制度により、個々の人材を伸ばし、また、職場の安全確保、社員の「こころ」と「からだ」への配慮を通し、働き方改革の取り組みの一貫として社員一人ひとりが活躍できる職場づくりを奨励しています。



健康経営の推進

トナミホールディングスグループは、健康経営に取り組んでいます。社長の健康企業宣言により、社員の健康保持・増進を支えるため、様々な施策を行っています。2020年3月に健康企業宣言(step2)金認定証を授与し、2022年3月には「健康経営優良法人2022」に認定されました。認定をうけて今後も

当社は、「健康＝最重要経営課題」という考えに基づき、お客様への信頼度向上・採用活動の普及、社員及びご家族の心身の健康保持・増進に向けた活動に全力で取り組んでまいります。



健康経営優良法人 認定証



■特定保健指導

協会けんぽが実施する40歳以上のメタボ該当者を対象とした特定保健指導を、全事業所において、タブレット端末を使った遠隔面談で実施しています。2022年度もさらなる受検率向上をめざし、社員一人ひとりに寄り添った指導をしていきます。

■脳MRI健診

脳血管疾患に起因する健康障害を未然に防止する目的で、50歳と55歳の節目年齢の長距離ドライバーに加え、50歳の節目社員を対象に実施しています。全国140医療機関と提携し、受診できます。早期発見につながった例もあり、産業医指導の下、診断結果に応じた指導を行っています。

■インフルエンザ補助金

社員のインフルエンザ感染予防と蔓延防止対策として、インフルエンザ予防接種を行った社員に対して補助金を支給しています。

■社内自動販売機にカロリー・糖質表示

■階段用消費カロリーステッカー

社員の仕事上の飲み物や階段の活用で歩数を増やすことが、社員の健康度アップにつながるため、会社としてサポートしていきます。

■新入社員・ドライバーを対象に健康教室開催

社員の健康と安全を守るため、健康教室を開催し、健康起因事故を防ぐための学びの機会を設けています。

■メンタルヘルスの取り組み

①ストレスチェック実施

全社員を対象に、年1回ストレスチェックを実施。受検率は毎年アップしており、職場の集団分析結果は、中央安全衛生対策審議会上に諮り、職場環境改善に活用しています。また、人事部にキャリアコンサルタントを常駐、外部カウンセラーによる相談窓口を設置し、希望者全員に産業医面接を実施するなど、こころの健康づくりにも積極的に取り組んでいます。

②心の健康づくり表明

わが社のメンタルサポートとして、全事業所にポスターを掲示しPRしています。

③階層別メンタルヘルス研修開催

新入社員や昇格者などを対象に、こころの健康状態を問い、社員のための健康な職場づくりを推進していくためセルフケアからラインケアについて学んでいます。

キャリアコンサルタント COMMENT

学生・求職者・在職者を対象に職業選択や能力開発に関する相談・助言を行う専門職です。



トナミ運輸 人事部
田村 裕香

一担当者として、私に何ができるかを考えました。まずは自分自身が成長し、安心してもらえる人でありたいと思い、2022年1月にキャリアコンサルタントの資格を取得しました。相手に寄り添い、何か気付きを与えられる存在になりたいと思っています。一つひとつの課題に丁寧に向き合い、人を通じて企業・社会に貢献できるよう取り組んでいます。

メンター制度

トナミ運輸では、新入社員の早期離職を防止するため、メンター制度を導入しています。

対象は内勤職とドライバー職であり、入社時からの関わりを深めることで、悩みや不満の早期解決を図って人材の定着につなげています。

当初は新入社員への声掛け・悩みを相談できる理解者とし



での役割をメンターに求めていましたが、徐々に良き助言者・指導者としての役割が強くなっており、メンターに設定されている先輩社員の意識の向上にも表れています。

ダイバーシティ&インクルージョン

多様な人材を受け入れ、誰もが自分らしく活躍できるよう、事業形態や地域特性に応じた人事制度を構築することで、働きがいのある職場環境づくりに取り組んでいます。



女性ドライバーの活躍

労働人口減少に伴うトラックドライバー不足の中で、女性ドライバーの活躍が進んでいます。トラックドライバーというと、過去から男性の職業というイメージが強く、トナミ運輸においても働くドライバーの大半が男性です。商業貨物を多く取り扱うトナミ運輸の特積事業において、男性に負けず頑張っている女性ドライバーが増えています。力では男性に敵いませんが、仕事に取り組む姿勢は男性にも負けません。これからは女性ドライバーが活躍できる職場づくりを進めていくことが、トナミ運輸の将来につながるものと考えています。

COMMENT

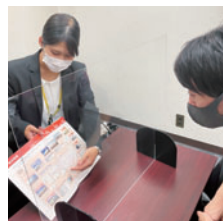


トナミ運輸
中央支店
特定乗務員
高木 優

女性ドライバーへの格好いいという憧れが入社のきっかけとなりました。お客様から感謝の言葉をかけてもらえた時にやりがいを感じます。女性だからと大目にみてもらえるとは思わず、男性と同等かそれ以上のクオリティを追求しています。運行管理者・衛生管理者の資格を取得したので、さらに仕事の幅を広げ、キャリアアップにつなげたいと考えています。

女性営業スタッフの活躍

お客様が抱える物流課題は多様化・複雑化し、ご満足頂けるサービスを提供していくためには、実運送の精度向上だけではなく、個々のお客様のニーズをこまめに把握し、適時営業提案していくことが求められています。会社全体の営業力増強を目的として、2020年7月に営業アシスタント制度を開始



しました。特に就労男性比率が高い運送業界において、性別を問わず社歴の浅い方、他業務従事者で兼務可能な方から18名を選任し、お客様とのインターフェイス拡大に取り組んでいます。

女性所属長の活躍

物流業界は男性が多い業界ですが、トナミ運輸では女性のセンター長が活躍しています。

女性ならではの細やかな気配りや応対がお客様にも喜ばれ、社員からも高い信頼を得ています。チームメンバーが困った時には、遠慮なく相談でき、社内にも良い雰囲気を作り出しています。女性リーダーのロールモデルとして、後進につながるよう女性活躍推進に積極的に取り組んでいます。



COMMENT



トナミ運輸 奈良流通センター センター長
米丸 裕子

何事にも興味を持ち貪欲に取り組む姿勢を大切にしています。

お客様には謙虚な姿勢を大切に、上司と相談しながらも、遠慮せず、ここぞという時には自分の意志を貫きます。そこに仕事の面白さを感じ、その繰返しが今の私のやりがいです。

私は今後、女性社員の活躍がトナミ運輸の成長の鍵を握ると思っています。女性だからこそできる、思いつく、という柔軟さを大切に、一つひとつの仕事を“私らしく全力で取り組む”ことが後進の未来を広げると確信しています。

選べる制服

トナミ運輸では従来、すべての女性事務職はスカートタイプのオフィスウエアを着用し、男性事務職はワークウエアを着用していましたが、事業所で活躍する女性社員が増加し、女性がホームで作業をするケースが多くなってきたことから、「女性がオフィスウエアでは業務に支障をきたす」「安全性にも問題がある」といった声があがり2021年9月からは希望者に対しワークウエアを支給しています。

活動的に動けることで作業をしやすくなっただけでなく、女性に多い冷え対策や、今まで脚をあらわにすることに抵抗があった社員の業務に対するモチベーション向上につながっています。

ダイバーシティ推進部発足

トナミ運輸労働組合では、男女平等参画をはじめとした、ジェンダー平等や多様性(ダイバーシティ)の尊重に向けて、誰もが働きやすい職場づくりに取り組むため、2021年9月よりダイバーシティ推進部を設置しました。

まずは自分たちがダイバーシティについて十分に理解できていないという現状をふまえ、「男性の育休取得」や「アンコンシャス・バイアス」など、取り巻く情勢に合わせた教育の機会を設けて知識を深め、現場実態の把握や意見集約などの取り組みを行っています。

実際には、長年慣れ親しんだ企業風土に問題を感じておらず、わざわざダイバーシティに取り組むことに疑問を持たれる方もいるかと思います。トナミ運輸で働く全ての仲間が、安心・安全に働くことのできる環境をつくるため、ダイバーシティのメリットや必要性を伝え、意識を醸成していきます。

COMMENT



トナミ運輸労働組合
ダイバーシティ推進部長
橋田 佳那子

ダイバーシティ推進部長就任にあたり、まずは自分自身が知識を深め、メンバーと議論しながら、今までの企業風土を見直し、固定観念にとられない誰もが働きやすい職場へ向けて精一杯務めさせていただきます。

支援学校「障がい者雇用見学会」への参加

トナミ運輸 富山主管支店では、高岡高等支援学校で開催される「企業向け見学会」に参加交流しています。

これは、県内企業の人事担当者を対象に定期的に開催されており、ここでは、障がい者雇用への理解を深める機会として、支援学校卒業後の就労に向けてどのような学びを行っているのかを見学することができます。

この見学会に参加し、障がい者雇用に積極的に取り組んでいます。

外国人技能実習生の受け入れ

トナミ運輸では、開発途上地域の経済発展・産業振興の担い手となる人材の育成をすることを目的とした「外国人技能実習制度」を取り入れ、2020年3月より野田整備工場でベトナム人実習生2名を受け入れています。

外国人実習生を受け入れることで、国際協力的一端を担うと同時に社員の多様性に対する意識の向上を図っています。

実習終了後には、母国で活躍できる人材となっていいただけるよう技術や知識を伝承していきます。

短時間勤務制度について

トナミ運輸では、2010年6月より育児短時間勤務制度、2018年4月より介護短時間勤務制度を設けています。2時間以内で所定時間を短縮できる制度で、育児短時間は子が就学前の3月末まで、介護短時間は1年以内の期間について取得できます。人こそが企業の財産であり、社員一人ひとりがワークライフバランスを保ちながら、安心して長く会社で活躍できることが大切だと考えています。

今後も、より働きやすい環境整備について取り組んでいきます。

COMMENT



トナミ運輸 総務部
能松 恵里佳

2018年と2021年に出産し、現在育児短時間勤務制度を利用し働いています。限

れた時間での業務ということもあり、時間配分に悪戦苦闘していますが、やり方を工夫し効率よく業務をこなすよう考えるようになりました。また、短時間勤務ということもあり、子どもと関わる時間も確保できているので毎日忙しいですが、充実しています。働く場があることで社会と関わることができ、仕事へのモチベーションも上がったと感じます。子どもが急病の際も職場の皆の助けを借りて仕事をこなすことができています。次の世代の方たちがこの制度を取りやすいよう、責任をもって仕事をしていきたいと思っています。

支援学校就業体験

トナミ運輸 富山流通センターでは、障害を持っている方の就業体験を積極的に受け入れており、2021年は富山県立高岡支援学校の生徒を1名受け入れました。

就業体験は、職業人としての基礎的能力の育成と職業意識の啓発を図り、自立できることを目的として実施されています。

富山流通センターでは、段ボールの組み立て作業を体験して頂きました。このような活動に積極的に取り組むことで、あらゆる人の社会参加を支援していきたいと思っています。





ガバナンス

コーポレートガバナンス

トナミホールディングスグループは、コーポレートガバナンスを強化し、社会・ステークホルダーから信頼される企業として、さらなる価値創造をめざします。



役員紹介

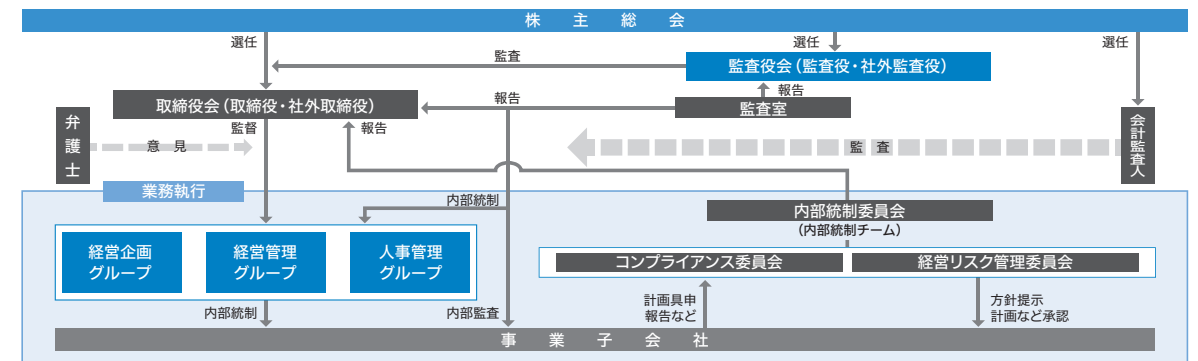
常勤監査役	常勤監査役	監査役	監査役	取締役
輪達 光春	三枝 保弘	松村 篤樹※	尾田 利之※	佐藤 公昭



常務取締役	専務取締役	専務取締役	代表取締役社長	取締役	取締役	取締役
寺拝 豊信	泉 伸一	高田 和夫	綿貫 勝介	犬島 伸一郎※	早水 暢哉※	笠井 千秋※

※取締役 犬島伸一郎氏、早水暢哉氏、笠井千秋氏は社外取締役、監査役 松村篤樹氏、尾田利之氏は社外監査役であります。

コーポレートガバナンス体制組織図



①会社の機関の内容及び内部統制システム

当社は、経営方針及び経営戦略に関わる重要事項を担当する機関として、社外取締役3名を含む8名で構成する取締役会を設置しております。

取締役会は、取締役会規則に基づいて月1回これを開催することを原則とし、その他必要に応じて随時開催して、取締役会の意思疎通を図るとともに相互に業務執行を監督し、必要に応じて外部の専門家を起用し、法令定款違反行為を未然に防止することといたしております。

また、内部統制構築の一環として、監査役制度を採用しており、常勤監査役2名、社外監査役2名の4名体制で構成し、監査役は取締役会及びその他重要会議への出席や意見の具申などで取締役の適法性について監査しております。

取締役の職務執行については、監査役会の定める監査の方針及び分担に従い、社外監査役を含め各監査役の監査対象となっております。

取締役が他の取締役の法令定款違反行為を発見した場合は、直ちに監査役及び取締役会に報告し是正を図ることとしており、内部監査部門として業務執行部門から独立した監査室を置いております。

なお、一般株主との利益相反が生じるおそれのない独立役員5名を選任し、外部の視点での取締役会の監督機能の強化を図ることとしております。

さらに、コンプライアンス体制の基礎として「トナミグループ社員行動規範」を定め、意思決定機関として社長を委員長とする内部統制委員会を設置し、内部統制担当役員を中心とする内部統制システムの向上を図っております。

コンプライアンスの統括組織としてコンプライアンス委員会を設置し、内部統制チーム(監査室内)が内部統制体制の維持・向上のための統括・運営・研修を実施しております。

事業子会社における業務の適正を確保するため、グループ事業子会社すべてに適用する行動指針として「トナミグループ社員行動規範」及び、「グループ運営規程」を定めるとともに、これを基礎として、グループ事業子会社で諸規程を定めております。なお、経営管理については、「グループ会社管理要領」により、承認・報告事項を定め、事業子会社経営の管理を行っております。

②内部統制システムの整備の状況

当社グループの内部統制システムの整備状況にあたっては、経営リスクマネジメントに関する基本方針を定め、事業子会社の運営に影響を及ぼすおそれのある様々なリスクへの適切な対応を行い、経営基盤の安定化を図るとともに、万が一、経営リスクが発生した場合の影響を極小化し、当社グループの損失及び社会的損失をできる限り発生させないよう取り組んでおります。

さらに、コンプライアンスの重要性を認識し、コンプライアンス委員会を設置し、「トナミグループ社員行動規範」に基づき、トナミホールディングスグループ事業子会社の役員社員に企業倫理と法令遵守を浸透させるため推進担当者を選任し、コンプライアンスに関わる教育説明会を実施しております。

また、企業活動において、あらかじめ違反行為が起り得る可能性を抽出し、未然防止を図るよう推進状況を報告させ、違反行為が発生した場合は早期に解決し、再発防止を講ずるコンプライアンス体制を構築しております。

なお、取締役会が決定した基本方針に基づき、速やかな業務執行に努めており、経営に関する法令遵守事項などについては、必要に応じて公認会計士や弁護士などの専門家から助言を受け参考としております。

そして、「グループ運営規程」を基礎として、グループ事業子会社各社で諸規程を定め、「グループ会社管理要領」により承認・報告事項を定め、事業子会社の経営管理を行うことにより、経営環境の変化に速やかに対応する体制を整え、経営の健全化に努めております。

また、業務執行が適切で効率よく行われているかについては、監査室による内部監査を実施し、監査役及び取締役会に報告を行っております。

反社会的勢力に対しては、毅然とした態度で臨み、一切の関係を持たないこととしております。また、不当要求などの介入に対しては、警察などの外部専門機関との緊密な提携のもと、関係部署が連携・協力して組織的に対応し、利益の供与は絶対に行わないこととしております。

■ コンプライアンス体制の整備

当社グループは、遵法及び倫理の観点から、役員・社員が心がけるべき基本事項を、「トナミグループ社員行動規範」として定めています。2015年6月には法務部を設置し、法的リスクへの適切かつ機動的な対応を強化しました。

コーポレートガバナンス体制の一環としてコンプライアンス委員会、その傘下に事業子会社のコンプライアンス部会を設置しています。

■ トナミグループ社員行動規範

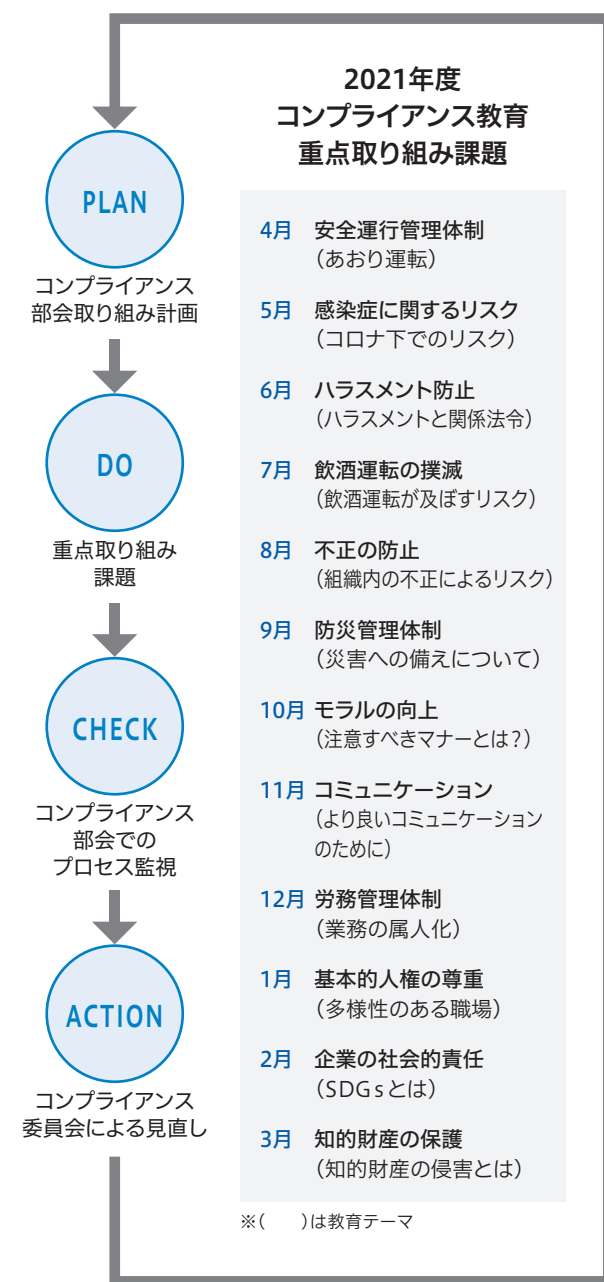
- ① お客様に、常に安全・確実・迅速な物流サービスを提供します。
- ② 地球環境を守るために、物流サービスのあらゆる段階において環境負荷低減に努めます。
- ③ 輸送活動にあたって、法・社会倫理・社内規程を遵守します。
- ④ 公正な企業活動をします。
- ⑤ 整理・整頓に心がけ、清潔を保って快適な作業環境を維持します。
- ⑥ 基本的人権を尊重し、良好な職場環境を維持します。
- ⑦ 企業情報・得意先情報・個人情報の保護に細心の注意を払います。
- ⑧ 得意先の価値創造に役立つコンセプトを構想、提案します。
- ⑨ コンピュータ・ネットワークの不正な利用、業務目的以外の使用をしません。



■ コンプライアンス教育の取り組み

2021年度のコンプライアンス教育は、重点取り組み課題として社会環境とともに変化する様々なリスクの低減に向け、地域特性や事業環境に合致した情報発信や問題提起を行い、全職種共通テーマと職種別テーマに分けてコンプライアンス各部会で教育を実施しました。

その教育の実施状況について、各部会から結果報告を求め、コンプライアンス委員会で評価を行い、マネジメントレビューを実施しました。今後とも定期的にPDCAサイクルを回すことによって継続的にコンプライアンス意識の向上を図ります。



■ 相談窓口の設置

法令違反などの早期発見と未然防止を主な目的として社内通報窓口を設置しているほか、ハラスメントに対する外部相談窓口を設置しています。

相談窓口の運営にあたっては、別で定める「コンプライアンス規程」を遵守し、関係する個人のプライバシーを十分に尊重しています。相談内容は、相談者本人の同意がない限り、社内外を問わず一切共有・公開はしません。また、相談によって社内で不利益を被ることは一切ないことを保証しています。

コンプライアンスホットライン(社内通報窓口) トナミグループホットライン(外部相談窓口)



ホットラインポスター

ハラスメント、社内の不正行為、不正な取引、倫理規程違反などの事実があった場合の通報窓口として、社内通報窓口、外部相談窓口としてコンプライアンスホットラインを設置しています。顧問弁護士事務所と連携し、通報者のプライバシーを守ります。

■ リスク管理体制の整備

経営リスクマネジメント方針を定め、社長を最高責任者とする経営リスク管理委員会を設置し、事業運営に影響を及ぼす様々なリスクに対応するために「トナミホールディングスグループ経営リスクマネジメント管理規程」を制定しています。

経営リスクマネジメント方針

自然災害、事故などの人為的災害、及び経営上の様々なリスクに的確に対処し、経営目標の達成を阻害するすべての要因を可能な限り防止し、排除することにより、社会的責任を果たす。

経営リスクマネジメント行動指針

- ① 経営リスクマネジメントに関する計画を策定し、実施する。
- ② 当社の役員及び従業員等及び関係者の安全・健康を確保する。
- ③ 当社の資産の保全を図る。
- ④ 経営リスクが顕在化した場合には、責任ある行動をとる。
- ⑤ 被害が発生した場合には、速やかな回復を図る。
- ⑥ 経営リスクに関連する社会的要請を当社の経営リスクマネジメントシステムに反映する。

■ ISMS認証取得

お客様の個人情報や情報資産の管理強化、サービスの安全性・信頼性の一層の向上を図るため、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)認証取得を奨励しています。トナミシステムソリューションズは、2007年3月及び2009年8月にISMSの認証を取得しました。



ISO/IEC 27001:2013 / JIS Q 27001:2014認証取得済
上記は、インターネットプロバイダ業務及びデータセンター運用サービスのものです。

■ 公益通報者保護法への対応

当社は、「トナミホールディングスグループ社内通報規程」を制定しています。監査室を通報・相談窓口として、①通報者の保護、②グループ内に潜むリスクの早期発見、③不正通報の濫用の抑止などに努めています。

■ 個人情報保護の取り組み

2005年4月の個人情報保護法の施行に伴い、個人情報の適切な利用と保護のための実践遵守基準を明確にした「個人情報保護コンプライアンスプログラム」を制定しています。お客様や取引先の個人情報の利用目的の適正利用を原則として、細心の注意をもって、責任ある取り扱いに努めています。また、2016年1月からのマイナンバー制度の本格的な運用開始に伴い、当社グループは、「特定個人情報の適正な取扱いに関する方針」及び「特定個人情報等取扱規定」を作成し、マイナンバーをはじめとする特定個人情報の管理について、必要かつ適切な安全管理措置を行う体制を確立しました。今後も特定個人情報を取り扱う事務従事者への教育を実施し、特定個人情報が適切に管理運用されるよう徹底していきます。

トナミホールディングスは、プライバシーポリシーをホームページ上で公開しています。
<http://www.tonamiholdings.co.jp/privacy/>



トナミホールディングス株式会社

〒933-8788 富山県高岡市昭和町3-2-12
TEL(0766)32-1073 FAX(0766)32-1077

<http://www.tonamiholdings.co.jp/> (本報告書はホームページでもご覧頂くことができます。)